SONY

操作ガイド

NW-A805 / A806 / A808

2-896-041-**04**(1)

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」、「安全のために」の3つのマニュアルが付属しています。また、付属のソフトウェアをインストールすれば、ソフトウェアのヘルプを参照できます。

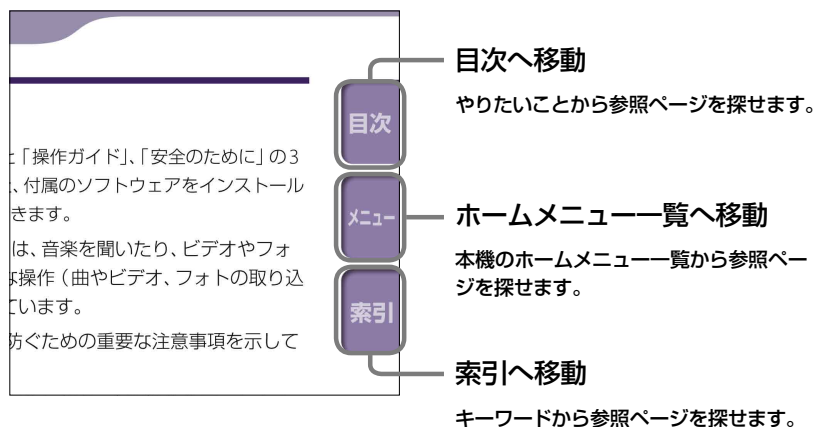
– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞いたり、ビデオやフォトを再生するまでの準備と基本的な操作（曲やビデオ、フォトの取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。
– 別紙の「安全のために」は、事故を防ぐための重要な注意事項を示しています。
– この「操作ガイド」は、本機の基本操作に加え、応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
– SonicStageのヘルプは、音楽をパソコンに取り込む方法や本機へ転送する方法などSonicStageの操作について詳しく説明しています（☞ 4ページ）。
– Image Converterのヘルプは、写真やビデオを本機に転送する方法などImage Converterの操作について詳しく説明しています（☞ 4ページ）。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使うには

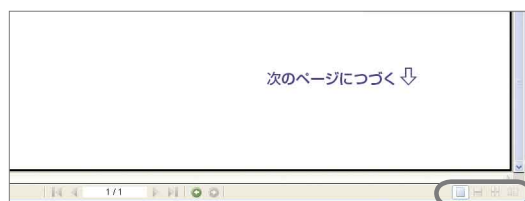
右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：（☞ 4ページ）
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ
1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ
ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

SonicStage/Image Converterのヘルプについて

付属のソフトウェアの使いかたについて詳しくは、SonicStageのヘルプ、またはImage Converterのヘルプをご覧ください。

1 それぞれのソフトウェアを起動し、[ヘルプ] メニューからヘルプをクリックする。

ヘルプが表示されます。

ご注意

- SonicStageのヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。
- Image Converterのヘルプでは、本機を「ウォークマン」として説明しています。

目次

次のページにつづく ⇩

本機の設定をする

役に立つヒント

困ったときは

その他

ホームメニュー一覧

本機のBACK/HOMEボタンを押し続けると、ホームメニューが表示されます。
ホームメニューは、本機の各機能の入り口になり、曲やビデオ、写真の再生や、曲の検索、設定変更などができます。

次のページにつづく ⇩

各種設定

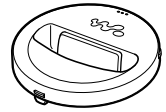
プレイリスト

目次
メニュー
索引

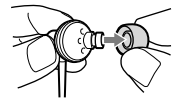
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- □ ヘッドホン(1)
- □ ヘッドホン延長コード(1)
- □ イヤーピース(Sサイズ、Lサイズ)(1)
- □ USBケーブル*[1] (1)
- □ アタッチメント(1)
  本機を別売りのクレードルなどに取り付けるときに使います。

- □ CD-ROM*[2] (1)
  - SonicStageソフトウェア
  - Image Converterソフトウェア*[3]
  - 操作ガイド(PDF)
- □ クイックスタートガイド(1)
- □ 安全のために(1)
- □ 保証書(1)
- □ ソニーご相談窓口のご案内(1)
- □ カスタマー登録のお願い(1)

*[1] 本機に付属のケーブルまたは別売りの専用ケーブル以外は使用しないでください。
*[2] 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。
*[3] 本機は、付属のImage Converter 3またはそれ以降のバージョンでお使いください。なお、本書内では「Image Converter」と記載しています。

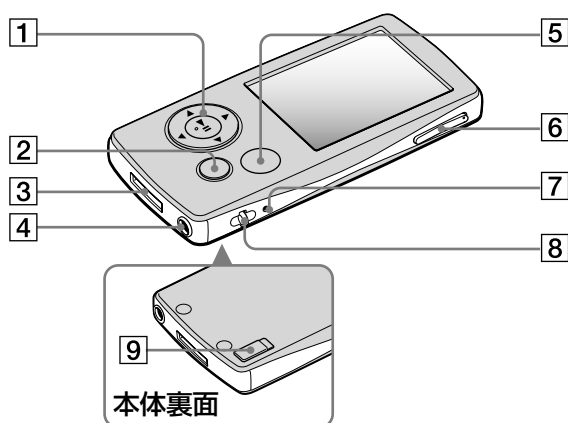
イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。
イヤーピースが外れ耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。

シリアル番号について

カスタマー登録の際に、本機のシリアル番号の入力が必要となります。シリアル番号は、本体裏面に記載されています。
または、本機でシリアル番号を確認することもできます(☞95ページ)。

目次
メニュー
索引

各部の名前

本体表面

1 5方向ボタン*1

再生を始めたり、項目を選んだりできます（☞ 13ページ）。

2 BACK/HOME（バック/ホーム）ボタン*2

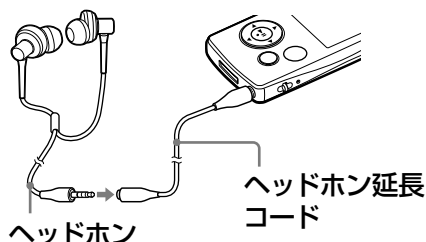
リスト画面の階層を上がったり（☞ 12ページ）、前の画面に戻ります。
押し続けると、ホームメニューが表示されます。

3 WM-PORT（ダブリューエムポート）ジャック

付属のUSBケーブルや、WM-PORT対応アクセサリーなど別売りの周辺機器を接続できます。

4 ヘッドホンジャック

ヘッドホンやヘッドホン延長コードを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホン延長コードを使うとき

5 OPTION/PWR OFF（オプション/パワーオフ）ボタン*2

オプションメニューを表示します（☞ 16ページ）。
押し続けると画面表示が消え再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、元の状態に戻り再生画面が表示されます。
再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。このときいずれかのボタンを押すと、起動画面のあとに再生画面が表示されます。

ご注意

- 再生待機状態でもわずかにバッテリーを消耗するため、電池残量によっては早く電源が切れる場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

6 VOL（ボリューム）＋*[1]/－ボタン

音量を調節します。

7 RESET（リセット）ボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すと、本機をリセットできます（☞ 111ページ）。

8 ストラップ取り付け口

ストラップ（別売り）を取り付けます。

9 HOLD（ホールド）スイッチ

誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
HOLDスイッチを矢印の方向にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、ホールドが解除されます。

*[1] ボタンには、凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

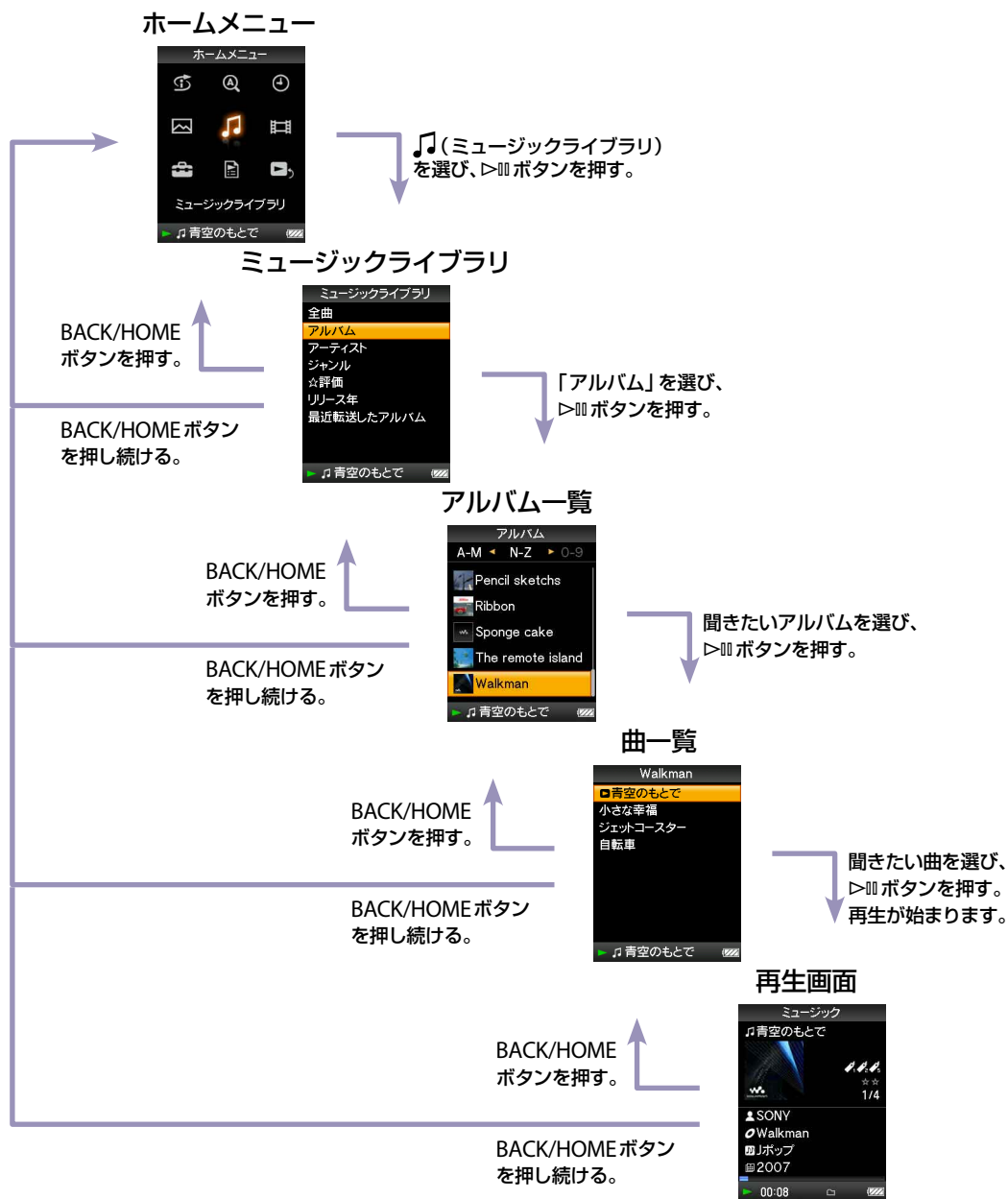
*[2] 本機上の ▬ はボタンを押し続けると使える機能です。

目次
メニュー
索引

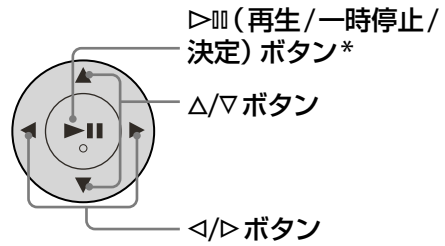
操作ボタンの使いかた

5方向ボタンとBACK/HOMEボタンを使い、画面の切り換えや再生操作、設定などを行います。
BACK/HOMEボタンを押し続けると、ホームメニューが表示されます。
例えば、ホームメニューから「ミュージックライブラリ」–「アルバム」の順で曲を選ぶと、以下のように画面が切り換わります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5方向ボタンの動作

5方向ボタンは、曲やビデオ、写真を検索したり選択する「リスト画面」と「サムネイル画面」、再生中に表示される「再生画面」によって動作が異なります。

* ▷Ⅱボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

リスト画面での使いかた

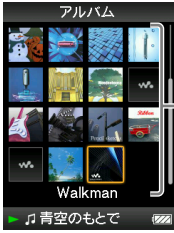
リスト画面

ボタン	説明
▷Ⅱ	選んだ項目を決定します。 押し続けると、音楽の場合は選んだ項目の全曲を再生、フォトの場合は選んだ項目のすべての写真をスライドショー再生します。
△/▽	カーソルを上下に移動します。 押し続けると、速くスクロールします。
◁/▷	インデックス表示中に押すと、左右の項目に移動し、画面が切り換わります。 インデックスが表示されていないときに押すと、ページ単位でスクロールします。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

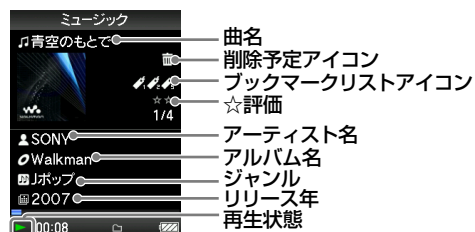
サムネイル*画面での使いかた

サムネイル画面

ボタン	説明
▷II	音楽の場合は選んだ項目の曲一覧、フォトの場合は選んだ項目を表示します。 ビデオの場合は選んだ項目の再生を始めます。
△/▽	カーソルを上下に移動します。押し続けると早くスクロールします。
◁/▷	カーソルを左右に移動します。押し続けると早くスクロールします。

* サムネイルとは、ジャケット写真、ビデオの開始画面、写真の縮小表示のことです。

次のページにつづく ⇩

再生画面での使いかた

再生画面

ボタン		説明
音楽	▷II	再生状態表示部に ▷ が表示され、再生が始まります。もう一度押すと、II が表示され、再生が一時停止します。*1 再生/再生一時停止の切り換えは、再生画面でのみ行えます。
	△/▽	カーソルを表示します。カーソルを上下に移動させ、ジャンルやアルバム名を選択中に ▷II ボタンを押すと、再生中の曲と同じジャンルのアーティスト一覧や同じアルバムの曲一覧を表示します。
	◁/▷	前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。 押し続けると、早送り/早戻しをします。
ビデオ	▷II	再生状態表示部に ▷ が表示され、再生が始まります。もう一度押すと、II が表示され、再生が一時停止します。*1 ビデオの再生は、再生画面でのみ行えます。
	△/▽	前のビデオや再生中のビデオ、次のビデオの頭出しをします。*2
	◁/▷	再生中のビデオの早送り/早戻しをします。繰り返し押すと、10倍速/30倍速/100倍速で早送り/早戻しします。
フォト	▷II	再生状態表示部に ▷ が表示され、スライドショー再生が始まります。もう一度押すと II が表示され、スライドショー再生が一時停止します。*3 スライドショーの再生は、再生画面でのみ行えます。
	◁/▷	前の写真や次の写真を表示します。

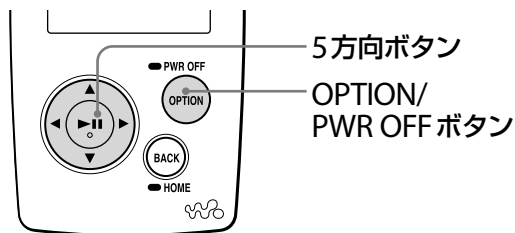
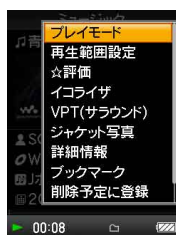
*1 再生一時停止中に30秒以上操作がないと、画面表示が消え再生待機状態になります。

*2 再生中の前のビデオの頭出し、次のビデオの頭出しは、「連続再生設定」が「オン」の場合のみ有効です（☞ 70ページ）。

*3 音楽を再生しながらスライドショーを一時停止した状態で、「画面表示時間」（☞ 86ページ）で設定した時間以上操作がない場合、画面が暗くなります。音楽もスライドショーも一時停止した状態で30秒以上操作がないと、画面表示が消え再生待機状態になります。

目次
メニュー
索引

オプションボタンの使いかた

OPTION/PWR OFFボタンを押しオプションメニューを表示すれば、曲やビデオ、写真のいろいろな編集や設定ができます。ホームメニューの（各種設定）の設定項目から選ぶことなく、設定画面を表示できるので便利です。

❶ 再生中または再生一時停止中にOPTION/PWR OFFボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。

❷ △/▽/◁/▷ボタンで項目を選び、▷II ボタンを押して決定する。

選んだ項目の設定画面が表示されたり、選んだ項目が実行されます。

オプションメニューを表示した画面によって、メニュー項目が異なります。詳しくは、「音楽のオプションメニューを表示する」（☞45ページ）、「ビデオのオプションメニューを表示する」（☞73ページ）、または「写真のオプションメニューを表示する」（☞83ページ）をご覧ください。

ヒント

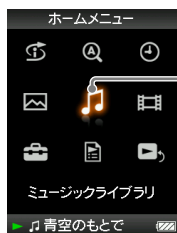
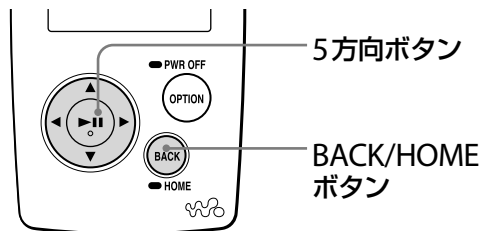
- ◁/▷ボタンを押せば、メニュー項目をページ単位でスクロールします。

ご注意

- グレーで表示される項目は、選択しても無効です。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲をリストから探す（ミュージックライブラリ）

曲名やアーティスト名、アルバム名、ジャンル名などから聞きたい曲を探せます。

曲名から探す

曲一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。
曲名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで♫（ミュージックライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。
リスト画面が表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「全曲」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
曲一覧が表示されます。

4 △/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 曲一覧で曲を選択中に▷II ボタンを押し続ければ、基本登録先のブックマークリストに登録できます（☞ 34ページ）。

次のページにつづく ⇩

アルバムから探す

アルバム一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。

アルバム名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで♫（ミュージックライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「アルバム」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
アルバム一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンでアルバムを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 手順❹で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- ジャケット写真だけを表示したり、アルバム一覧の表示形式を変更できます（☞ 51ページ）。
- 曲の再生範囲を設定できます（☞ 49ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アーティストから探す

アーティスト一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。
アーティスト名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで♫（ミュージックライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。
リスト画面が表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「アーティスト」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
アーティスト一覧が表示されます。

4 △/▽/◁/▷ボタンでアーティストを選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

5 △/▽/◁/▷ボタンでアルバムを選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

6 △/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- アーティスト名の頭文字が、「The（スペース）」、「The・」、「ザ・」、「ジ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。
- 手順4または5で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- ジャケット写真だけを表示したり、アルバム一覧の表示形式を変更できます（☞ 51ページ）。
- 曲の再生範囲を設定できます（☞ 49ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ジャンルから探す

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで♫(ミュージックライブラリ)を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「ジャンル」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
ジャンル一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンでジャンルを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷ボタンでアーティストを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

❻ **△/▽/◁/▷ボタンでアルバムを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

❼ **△/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 手順❹から手順❻で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- ジャケット写真だけを表示したり、アルバム一覧の表示形式を変更できます(☞ 51ページ)。
- 曲の再生範囲を設定できます(☞ 49ページ)。

次のページにつづく ⇩

☆評価から探す

1～5までの星（☆）を付けて曲を評価し、付けた星の数から曲を検索できます。曲の評価について詳しくは、☞ 40ページをご覧ください。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで♫（ミュージックライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。
リスト画面が表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「☆評価」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
評価選択画面が表示されます。

4 △/▽/◁/▷ボタンで評価（☆1～5で表示）を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ評価の曲一覧が表示されます。

5 △/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 手順 4 で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- 曲の再生範囲を設定できます（☞ 49ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の発売年から探す

❶ ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

❷ △/▽/◁/▷ボタンで♫(ミュージックライブラリ)を選び、▷II ボタンを押して決定する。
リスト画面が表示されます。

❸ △/▽/◁/▷ボタンで「リリース年」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
発売年の一覧が表示されます。

❹ △/▽/◁/▷ボタンで発売年を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ発売年のアーティスト一覧が表示されます。

❺ △/▽/◁/▷ボタンでアーティストを選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだアーティストの曲一覧が表示されます。

❻ △/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 手順❹または❺で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- 曲の再生範囲を設定できます(☞ 49ページ)。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

新しく転送したアルバムから探す

最近3回のSonicStage接続時に転送されたアルバムから検索できます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで♫（ミュージックライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「最近転送したアルバム」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
転送回選択画面が表示されます。

❹ **△/▽ボタンで転送回を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだ転送回に転送されたアルバムの一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷ボタンでアルバムを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

❻ **△/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から順に再生します。

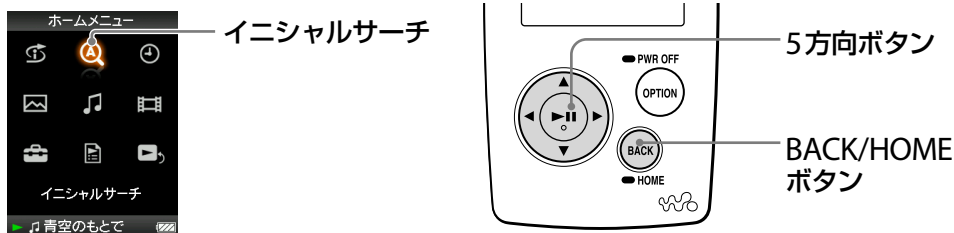
ヒント

- 手順❹または❺で一覧から項目を選び、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- ジャケット写真だけを表示したり、アルバム一覧の表示形式を変更できます（☞ 51ページ）。
- 曲の再生範囲を設定できます（☞ 49ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を頭文字で探す（イニシャルサーチ）

アーティスト名、アルバム名、または曲名の頭文字（イニシャル）で曲を検索できます。日本語表示の場合は、読み仮名で検索できます。

❶ ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

❷ △/▽/◁/▷ボタンで Ⓐ（イニシャルサーチ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

検索対象を選ぶ画面が表示されます。
「曲」は曲名、「アーティスト」はアーティスト名、「アルバム」はアルバム名で検索します。

❸ △/▽/◁/▷ボタンで検索対象を選び、▷II ボタンを押して決定する。

文字選択画面が表示されます。

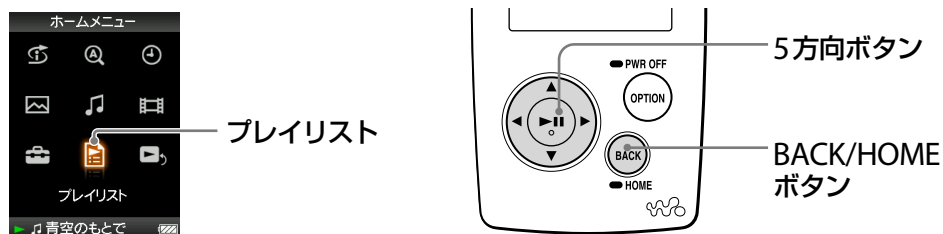
❹ ◁/▷ボタンで「カナ」または「英数・他」を選び、▽ボタンを押してカーソルを文字一覧へ移動させる。

❺ △/▽/◁/▷ボタンで頭文字を選び、▷II ボタンを押して決定する。

検索が終わると検索結果画面が表示されます。
「アーティスト」または「アルバム」を選んだ場合は、一覧から更に細かく曲を検索できます。
アーティストやアルバムを選択中に、▷II ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する

SonicStageで作成したプレイリストや、本機で作成したプレイリスト（ブックマークリスト）などを再生できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト一覧が表示されます。
   プレイリストの種類について詳しくは、☞ 26ページをご覧ください。

3. **△/▽/◁/▷ボタンでプレイリストを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   曲一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から順に再生します。

ご注意

- プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

プレイリスト一覧

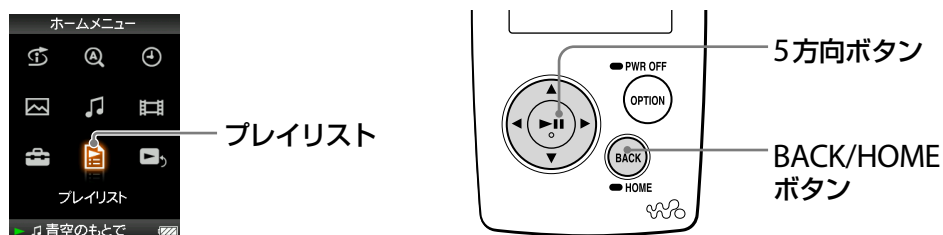
プレイリストには以下の5種類があります。

プレイリストの種類	説明
プレイリスト	SonicStageで作成するプレイリストです。プレイリストの作成については、ヘルプをご覧ください。 曲の再生範囲を設定することもできます。（☞ 49ページ）
ブックマーク1～5	本機で作成するプレイリスト（「ブックマークリスト」と呼びます）です。5つのブックマークリストがあります。ブックマークリスト再生中は再生画面で、再生中のブックマークのアイコンに下線が表示されます。ブックマークリストへの曲の登録/編集については、☞ 34ページをご覧ください。
よく聞く100曲*	SonicStageが自動で作成するプレイリストです。SonicStageに接続したときに、再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示します。
削除予定リスト	削除したい曲を登録するプレイリストです。リストに登録すると、次回SonicStageに接続したときに、本機から削除されます。削除予定リストへの曲の登録については、☞ 42ページをご覧ください。
再生履歴	SonicStageが自動で作成するプレイリストです。SonicStageに接続したときに、それまでに本機で15秒以上再生した曲が再生履歴に追加され、曲を再生した年/月ごとに古い順に表示します。

* 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。

目次
メニュー
索引

再生した日付で曲を探す

再生した日付から曲を選んで再生できます。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷॥ボタンを押して決定する。
プレイリスト一覧が表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「再生履歴」を選び、▷॥ボタンを押して決定する。
再生日が、古い順に表示されます。

4 ◁/▷ボタンで年月、△/▽ボタンで日付を選び、▷॥ボタンを押して決定する。
選んだ日付に再生された曲が、一覧表示されます。

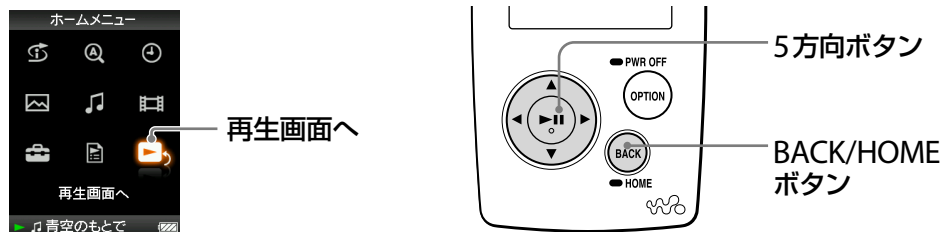
5 △/▽/◁/▷ボタンで曲を選び、▷॥ボタンを押して決定する。
選んだ曲から順に再生します。

ヒント

- 本機で曲を15秒以上再生後、SonicStageに接続することにより、その時点までに再生した曲が再生履歴の曲一覧に反映されます。
- 再生時間が15秒未満の曲は、再生履歴の曲一覧に反映されません。
- 手順3で一覧から項目を選び、▷॥ボタンを押し続けると、項目に含まれる全曲を再生できます。
- 曲の再生範囲を設定できます（☞ 49ページ）。

目次
メニュー
索引

再生中の曲から探す

再生画面から再生中の曲情報で、曲やアルバム、アーティストの検索ができます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（再生画面へ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

再生中の曲の再生画面が表示されます。

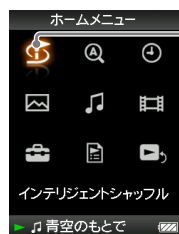
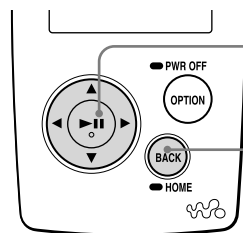
3 **▽ボタンを押してカーソルを表示させ、曲を探したい項目を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

選んだ項目によって、次の一覧画面が表示されます。

- アーティスト名：再生中のアーティストのアルバム一覧
- アルバム名：再生中のアルバムの曲一覧
- ジャンル名：再生中のアーティストが属するジャンルのアーティスト一覧
- リリース年：再生中の曲と同じ年にリリースされたアーティスト一覧

目次
メニュー
索引

シャッフル再生する（インテリジェントシャッフル）

3通りのシャッフルモードから選び、曲を順不同に再生（シャッフル再生）できます。

よく聞く100曲をシャッフル再生する

再生回数の多い100曲を順不同に再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   シャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「よく聞くシャッフル」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   よく聞く100曲がシャッフルされ、再生が始まります。

ヒント

- よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  – 「ミュージックライブラリ」から曲を選んで再生する。
  – プレイモードを変更する。
  – 再生範囲を変更する。
  – ビデオを再生する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

同じ発売年の曲をシャッフル再生する（タイムマシンシャッフル）

発売年がランダムに選ばれ、その年に発売されたすべての曲を順不同に再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
シャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「タイムマシンシャッフル」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
発売年がランダムに選ばれ、その年にリリースされた曲がシャッフルされ、再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります（☞ 48ページ）。
- タイムマシンシャッフル再生を始めると、再生範囲は「選択範囲内を再生」に切り換わります（☞ 49ページ）。
- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  - 「ミュージックライブラリ」から曲を選んで再生する。
  - プレイモードを変更する。
  - 再生範囲を変更する。
  - ビデオを再生する。

ご注意

- 発売年を選択中は、本機の操作はできません。
- 本機に保存されている全曲の発売年が不明な場合は、全曲シャッフル再生します。
- 本機に保存されている全曲の発売年が1つの年だけの場合、または1つの年以外の曲の発売年が不明な場合は、発売年選択中のアニメーションは表示されず、再生が始まります。
- 発売年が不明な曲は、タイムマシンシャッフルで選ばれず、再生されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

全曲をシャッフル再生する

本機内のすべての曲を順不同に再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

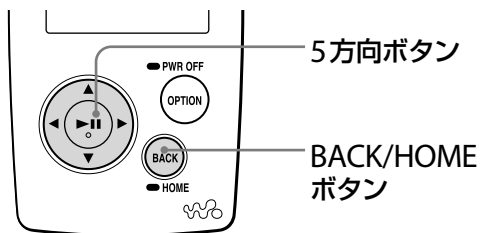
2. **△/▽/◁/▷ボタンで（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   シャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「全曲シャッフル」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   すべての曲がシャッフルされ、再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  - 「ミュージックライブラリ」から曲を選んで再生する。
  - プレイモードを変更する。
  - 再生範囲を変更する。
  - ビデオを再生する。

再生画面を表示する

再生画面を表示すれば、アーティスト名やアルバム名など、再生中の曲の曲情報が確認できます。また、SonicStageでジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にジャケット写真を表示できます。ジャ ケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（再生画面へ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
現在再生されている曲情報が表示されます。

ヒント

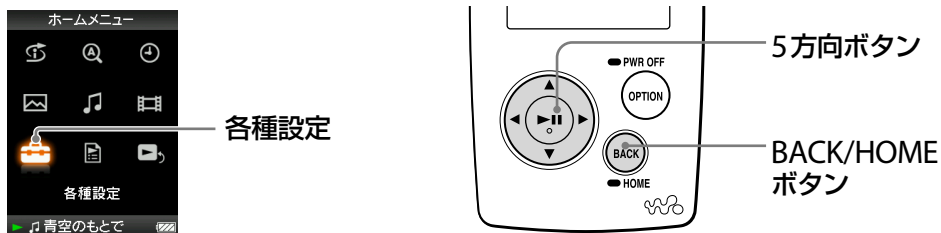
- オプションメニューから「詳細情報」を選択すれば、再生時間や、音楽ファイル形式、ビットレート*などの曲の詳細情報を表示できます。
  * ビットレートが可変ビットレートの場合は、「VBR」と表示されます。
- オプションメニューからジャケット写真を表示できます。再生中画面でOPTION/PWR OFFボタンを押し、「ジャケット写真」を選びます。

ご注意

- VBR再生時は、再生時間の表示や再生位置を表示するバーが安定せず、誤差が生じる場合があります。
- ジャケット写真が登録されていない場合は、本機内の決まった画像が表示 されます。
- プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

目次
メニュー
索引

曲ごとに再生画面を表示する（曲切り換わり時表示）

画面の表示時間を「常時表示」以外に設定した場合（☞ 86ページ）、一定時間操作がないと画面表示が消えます。「曲切り換わり時表示」を「オン」に設定すれば、曲の切り換わり時に再生画面を自動的に表示するように設定できます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
音楽設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「曲切り換わり時表示」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❺ **△/▽/◁/▷ボタンで「オン」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
曲が切り換わったとき、再生画面を表示します。

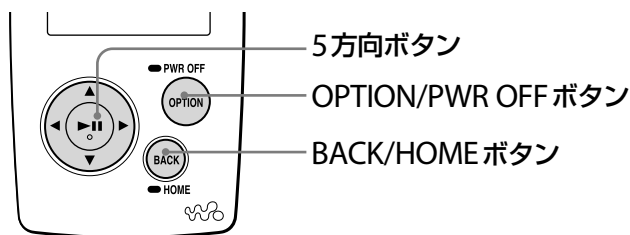
再生画面を表示しないようにするには

手順❺で「オフ」を選びます。曲が切り換わったとき、再生画面を表示しません。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

ブックマークリストに登録/編集する

好きな曲をブックマークリストに登録できます。ブックマークリストは5つあり、1つのブックマークリストにつき100曲まで登録できます。ブックマークリストの再生方法について詳しくは、☞ 25ページをご覧ください。

基本登録先のブックマークリストに登録する

1 ブックマークリストに登録したい曲の再生画面で、▷II ボタンを押し続ける。

「ブックマーク1に登録しました。」などと表示され、再生画面にブックマークのアイコン（ ）が点灯します。

ヒント

- 基本登録先のブックマークリストは変更できます（☞ 39ページ）。
- お買い上げ時の基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。
- 曲一覧でブックマークリストに登録したい曲を選択中に、▷II ボタンを押し続けても、基本登録先のブックマークリストに登録できます。

ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録できません。
- ブックマークリストの登録は、1曲ずつ行えます。アルバムなどをまとめてブックマークリストに登録できません。
- ビデオや写真はブックマークリストに登録できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリストを選んで登録する

「ブックマーク1～5」から選んで曲を登録できます。

1 **ブックマークリストに登録したい曲の再生画面を表示する。**

2 **OPTION/PWR OFFボタンを押す。**

オプションメニューが表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「ブックマーク」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

ブックマークリスト一覧が表示されます。

4 **△/▽ボタンで曲を登録したいブックマークリストを選び、▷II ボタンを押して決定する。**

選択したブックマークの左側にチェックマークが表示されます。

5 **△/▽ボタンで「閉じる」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

再生画面に戻ります。

ヒント

- ◁/▷ボタンを押せば、次の曲や前の曲の頭出しができるので、連続してブックマークの登録ができます。
- 曲一覧からも登録できます。曲一覧でブックマークリストに登録したい曲を選択中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ブックマーク」を選びます。
- 本機で作成したブックマークリストは、SonicStageで見られます。

ご注意

- ブックマークリストの登録は、1曲ずつ行えます。アルバムなどをまとめてブックマークリストに登録できません。
- ビデオや写真はブックマークリストに登録できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリストの曲を解除する

1 **ブックマークリストから解除したい曲の再生画面を表示する。**

2 **OPTION/PWR OFF ボタンを押す。**
オプションメニューが表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ ボタンで「ブックマーク」を選び、▷Ⅱ ボタンを押して決定する。**
ブックマークリスト一覧が表示されます。再生中の曲が登録されているブックマークリストの左側に、チェックマークが表示されます。

4 **△/▽ ボタンでブックマークリストを選び、▷Ⅱ ボタンを押して決定する。**
選択したブックマークの左側からチェックマークが消えます。

5 **△/▽ ボタンで「閉じる」を選び、▷Ⅱ ボタンを押して決定する。**
ブックマークリストの最後の曲を解除した場合は、プレイリスト一覧が表示されます。

ヒント
- 曲一覧からも曲を解除できます。OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションから「ブックマーク」を選びます。
- ◁/▷ ボタンを押せば、次の曲や前の曲の頭出しができるので、連続してブックマークの解除ができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリストから全曲を解除する

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンで全曲を解除したいブックマークリストを選び、OPTION/PWR OFFボタンを押す。**

オプションメニューが表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「ブックマークを全解除」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

確認画面が表示されます。

5 **△/▽ボタンで「はい」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

選んだブックマークリストの全曲が解除されます。
「いいえ」を選ぶと、プレイリスト一覧に戻ります。

ヒント

- ブックマークリストの曲一覧や再生画面からも全曲を解除できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ブックマークを全解除」を選びます。

次のページにつづく ⇩

ブックマークリストの曲順を変える

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンで曲順を変えたいブックマークリストを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
曲一覧が表示されます。

4 **OPTION/PWR OFFボタンを押す。**
オプションメニューが表示されます。

5 **△/▽/◁/▷ボタンで「曲の並べ替え」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
曲順変更画面が表示されます。

6 **△/▽/◁/▷ボタンで曲順を変えたい曲を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

7 **△/▽/◁/▷ボタンで移動先を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
手順**6**で選んだ曲が、手順**7**で選んだ位置に移動します。
複数の曲を移動する場合は、手順**6**と手順**7**を繰り返します。

操作を途中でやめるには

手順**6**または**7**でBACK/HOMEボタンを押します。
曲順変更画面に戻ります。

ご注意

- 「画面表示時間」（☞86ページ）で設定した時間が過ぎると、曲の並べ替えはキャンセルされます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

基本登録先のブックマークリストを変える

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンを押し「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
音楽設定項目一覧が表示されます。

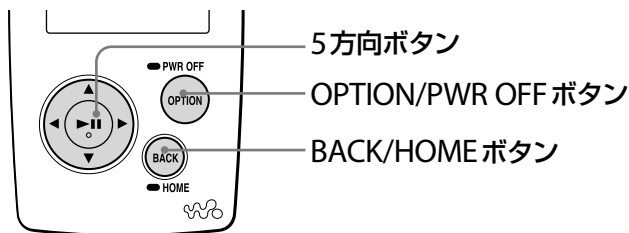
4 **△/▽/◁/▷ボタンで「ブックマーク基本登録先」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
ブックマークリスト一覧が表示されます。

5 **△/▽/◁/▷ボタンでブックマークリストを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだブックマークリストが、基本登録先のブックマークリストに設定されます。

ヒント

- お買い上げ時の基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。

曲を評価する

曲に最高5つまで星（★）が付けられます（☆評価）。好きな曲に星を付け、星の数から曲を探すこともできます（☞ 21ページ）。
評価には、自分で設定できる手動評価と、SonicStageが設定する自動評価があります。

手動で評価するには

1 評価したい曲の再生画面を表示する。

2 OPTION/PWR OFFボタンを押す。
オプションメニューが表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「☆評価」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
設定画面が表示されます。

4 △/▽ボタンで評価の値（★）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

5 △/▽ボタンで「閉じる」を選び、▷II を押して決定する。
再生画面に戻ります。

ヒント

- ◁/▷ボタンを押せば、次の曲や前の曲の頭出しができるので、連続して曲を評価できます。

ご注意

- 設定した評価による曲の検索は、次回SonicStageに接続したとき以降からできます。
- SonicStageで「☆評価」が未設定の曲を本機に転送した場合、本機では手動評価の★3つ（★★★）が表示されます。また、本機では「☆評価」を未設定に変更できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

自動で評価するには

1 評価したい曲の再生画面を表示する

2 OPTION/PWR OFFボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「☆評価」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

設定画面が表示されます。

4 △/▽ボタンで「自動評価」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

5 △/▽ボタンで「閉じる」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

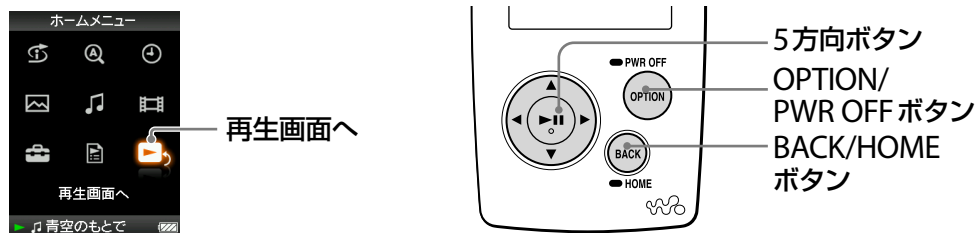
SonicStageが設定する自動評価値が表示され、再生画面へ戻ります。

ヒント

- 自動評価は縁取りの星（☆）で表示され、手動評価は塗りつぶした星（★）で表示されます。
- 自動評価は、再生回数や再生操作をもとに、ソフトウェアが設定します。
- ◁/▷ボタンを押せば、次の曲や前の曲の頭出しができるので、連続して曲を評価できます。

目次
メニュー
索引

曲を削除する

削除予定リストに曲を登録しておくと、次回SonicStageに接続したときにまとめて本機から削除できます。本機から削除されても、SonicStageからは削除されません。
削除予定リストには100曲まで登録できます。

❶ **削除予定リストに登録したい曲の再生画面を表示する。**

❷ **OPTION/PWR OFF ボタンを押す。**
オプションメニューが表示されます。

❸ **△/▽/◁/▷ ボタンで「削除予定に登録」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
「削除予定リストに登録しました。」と表示され、登録が完了します。
削除予定リストに登録された曲は、削除予定リスト以外の曲一覧では削除予定のアイコン（🗑）がついて表示され、再生できません。

ヒント

- 曲一覧からも削除できます。曲一覧で削除したい曲を選択中OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションメニューから「削除予定に登録」を選びます。

ご注意

- 削除予定リストに登録し本機から削除された曲は、以降、SonicStageに接続しても本機に自動的に転送されません。手動で転送する場合の操作については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- 曲の再生中に削除予定リストへの登録を行った場合、登録完了後に次の曲の再生が始まります。
- シャッフル再生中に削除予定リストに曲を登録すると、もう一度曲をシャッフルします。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

削除予定リストから曲を解除する

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「削除予定リスト」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
曲一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで解除したい曲を選び、OPTION/PWR OFFボタンを押す。**
オプションメニューが表示されます。

5 **△/▽/◁/▷ボタンで「削除予定を解除」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
「削除予定リストから解除しました。」と表示され、削除予定リストから解除されます。

ヒント

- 削除予定リストの再生画面からも曲を解除できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「削除予定を解除」を選びます。

ご注意

- シャッフル再生中に削除予定リストから曲を解除すると、もう一度曲をシャッフルします。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

削除予定リストから全曲を解除する

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（プレイリスト）を選び、▷⏸ボタンを押して決定する。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「削除予定リスト」を選び、OPTION/PWR OFFボタンを押す。**
オプションメニューが表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「削除予定を全解除」を選び、▷⏸ボタンを押して決定する。**
確認画面が表示されます。

5 **△/▽ボタンで「はい」を選び、▷⏸ボタンを押して決定する。**
「削除予定リストの曲を全て解除しました。」と表示され、プレイリスト一覧へ戻ります。
「いいえ」を選ぶと、解除を中止し、プレイリスト一覧へ戻ります。

ヒント

- 削除予定リストの曲一覧からも全曲を解除できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「削除予定を全解除」を選びます。
- 削除予定リストの再生画面からも全曲を解除できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「削除予定を全解除」を選びます。

目次
メニュー
索引

音楽のオプションメニューを表示する

曲一覧などのリスト画面（サムネイル画面を含む）や音楽の再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、音楽のオプションメニューを表示できます。オプションメニューから音楽の各種設定などができます。
なお、オプションメニューを表示した画面によって、メニュー項目が異なります。

リスト画面と再生画面共通で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
詳細情報	曲の詳細情報が表示されます。
ブックマーク	ブックマークリストの登録/解除画面が表示されます（☞ 35、36ページ）。
ブックマークを全解除	ブックマークリストからすべての曲を解除します（☞ 37ページ）。
削除予定に登録	削除予定リストに登録します（☞ 42ページ）。
削除予定を解除	削除予定リストから解除します（☞ 43ページ）。
削除予定を全解除	削除予定リストからすべての曲を解除します（☞ 44ページ）。

リスト画面のみで表示される項目

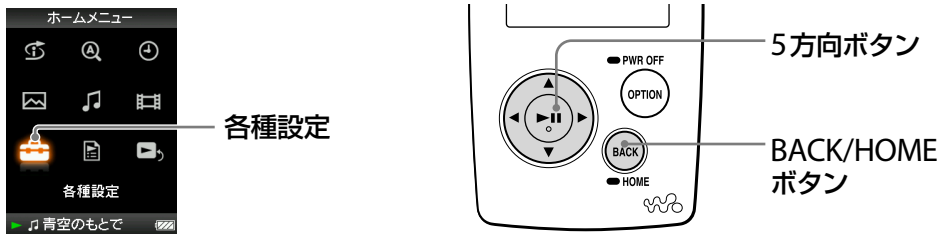
項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
これを再生	選んだ項目の再生を始めます。
アルバム表示形式	アルバム一覧の表示形式を設定します（☞ 51ページ）。
曲の並べ替え	ブックマークリストの曲順を並べ替えます（☞ 38ページ）。

次のページにつづく ⇩

再生画面のみで表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
プレイモード	再生方法を設定します（☞ 47ページ）。
再生範囲設定	再生範囲を設定します（☞ 49ページ）。
☆評価	曲の評価ができます（☞ 40ページ）。
イコライザ	音質を設定します（☞ 53ページ）。
VPT（サラウンド）	VPT（サラウンド）を設定します（☞ 56ページ）。
ジャケット写真	ジャケット写真が表示されます。
時計表示	現在時刻を表示します（☞ 89ページ）。

再生方法を変える(プレイモード)

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで (各種設定)を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   音楽設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「プレイモード」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   プレイモード一覧が表示されます。

5. **△/▽/◁/▷ボタンでプレイモード(☞ 48ページ)を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   音楽設定項目一覧に戻ります。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 再生画面からも再生方法を選択できます。曲を再生中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「プレイモード」を選びます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

プレイモード一覧

設定した再生範囲（☞ 49ページ）によって、再生内容が異なります。

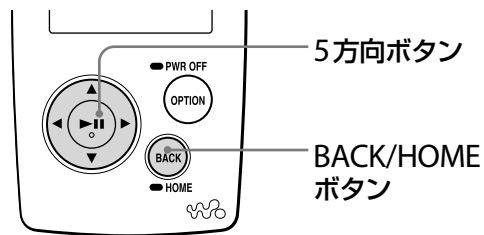
プレイモードの種類 / アイコン	再生範囲	説明
ノーマル/表示なし	全範囲を連続再生	再生中または再生を始めた曲から、ミュージックライブラリ内の曲を順に再生します。
	選択範囲内を再生	ミュージックライブラリ画面で、再生を始めたリスト一覧（アルバム一覧やアーティスト一覧など）の曲のみ再生します。
リピート/	全範囲を連続再生	再生中または再生を始めた曲から、ミュージックライブラリ内の曲を順に繰り返し再生します。
	選択範囲内を再生	ミュージックライブラリ画面で、再生を始めたリスト一覧（アルバム一覧やアーティスト一覧など）の曲のみ、順に繰り返し再生します。
シャッフル/SHUF	全範囲を連続再生	再生中または再生を始めた曲から、ミュージックライブラリ内の曲を順不同に再生します。
	選択範囲内を再生	ミュージックライブラリ画面で、再生を始めたリスト一覧（アルバム一覧やアーティスト一覧など）の曲のみ、順不同に再生します。
シャッフルリピート/SHUF	全範囲を連続再生	再生中または再生を始めた曲から、ミュージックライブラリ内の曲を順不同に繰り返し再生します。
	選択範囲内を再生	ミュージックライブラリ画面で、再生を始めたリスト一覧（アルバム一覧やアーティスト一覧など）の曲のみ、順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート/1		再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。

ご注意

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- タイムマシンシャッフル再生を始めると、再生範囲は「選択範囲内を再生」に切り換わります。

目次
メニュー
索引

再生範囲を設定する

曲の再生範囲を設定できます。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3 △/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
音楽設定項目一覧が表示されます。

4 △/▽/◁/▷ボタンで「再生範囲設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
再生範囲設定画面が表示されます。

5 △/▽/◁/▷ボタンで再生範囲を選び、▷II ボタンを押して決定する。
設定範囲は以下の2通りから選べます。
- 全範囲を連続再生：ミュージックライブラリ内の曲を再生します。ミュージックライブラリ内のアルバムなどを順に再生したい場合はこちらを選択してください。
- 選択範囲内を再生：表示部に が表示され、再生を始めた項目（アーティストやアルバム）内の曲のみを再生します。（お買い上げ時の設定）

前の画面に戻るには
BACK/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく

ヒント

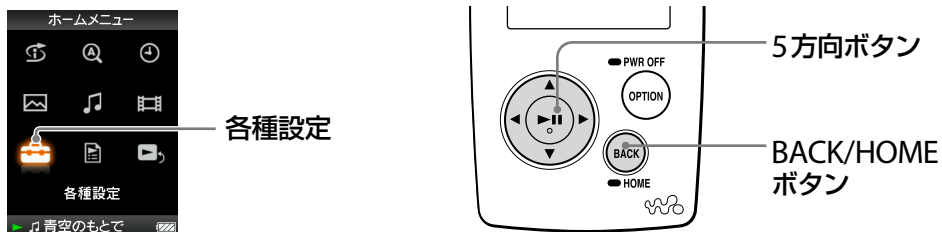
- 再生画面からも再生範囲を選択できます。曲を再生中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「再生範囲設定」を選びます。
- 設定した再生範囲とプレイモードによって、再生内容が異なります。詳しくは、「プレイモード一覧」（☞48ページ）をご覧ください。

ご注意

- プレイリスト一覧（☞26ページ）で曲を選び再生を始めた場合（「再生履歴」は除く）、この設定は無効です。

目次
メニュー
索引

アルバム表示形式を設定する

アルバム一覧の表示形式を、「アルバム名のみ」、「ジャケット写真あり」、「ジャケット写真のみ」の3通りから選べます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

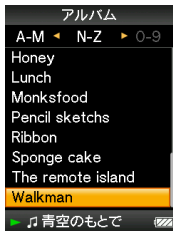
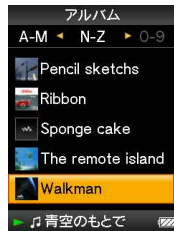
3 **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
音楽設定項目一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「アルバム表示形式」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
アルバム表示形式一覧が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 △/▽/◁/▷ボタンでアルバム表示形式を選び、▷II ボタンを押して決定する。

設定値は以下の3通りから選べます。

アルバム名のみ	ジャケット写真あり（お買い上げ時の設定）	ジャケット写真のみ

前の画面に戻るには

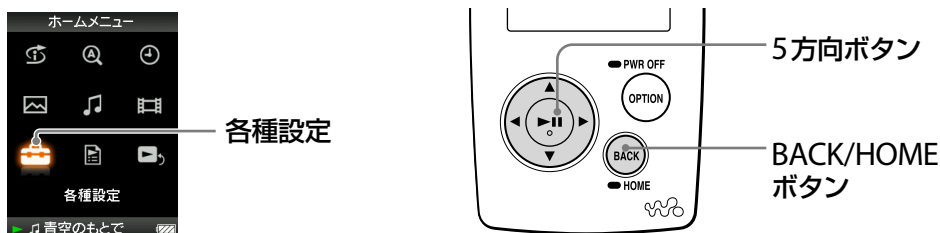
BACK/HOMEボタンを押します。

ヒント

- アルバム一覧画面でも表示形式を設定できます。アルバム一覧画面でOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「アルバム表示形式」を選びます。
- SonicStageで登録されたジャケット写真が表示されます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
  なお、プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（イコライザ）

音楽のジャンルなどに合わせて音を設定できます。

音質を選ぶ

好みの音質に設定できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   音楽設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「イコライザ」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   イコライザ項目一覧が表示されます。

5. **△/▽/◁/▷ボタンで好きなイコライザを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   選んだイコライザが設定され、音楽設定項目一覧へ戻ります。
   イコライザの各項目内容について詳しくは、☞ 54ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

通常の音質設定に戻すには

手順❺で「オフ」を選び、▷II ボタンを押して決定します。

ヒント

- 再生画面でも音質を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「イコライザ」を選びます。

ご注意

- 「カスタム 1」または「カスタム 2」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- ビデオの音声には、設定は反映されません。

イコライザ項目一覧

選んだ設定項目が、表示部に（ ）内のアイコンで表示されます。

設定項目	説明
オフ	音質設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
ヘビー（H）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ポップス（P）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ジャズ（J）	メリハリのある低域と高域を強調した音質になります。
ユニーク（U）	小さな音でも比較的聞き取りやすいように低域と高域を強調した音質になります。
カスタム 1（1）	自分で設定した値になります。設定方法は☞55ページをご覧ください。
カスタム 2（2）	

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音質の値を設定する（カスタム）

表示部を見ながら、クリアベース（低音）と5音域のイコライザの値を設定し、「カスタム 1」または「カスタム 2」としてあらかじめ登録できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
3. **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   音楽設定項目一覧が表示されます。
4. **△/▽/◁/▷ボタンで「イコライザ」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   イコライザ項目一覧が表示されます。
5. **△/▽/◁/▷ボタンで「カスタム 1」または「カスタム 2」の下に表示されている「設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   設定画面が表示されます。
6. **◁/▷ボタンでクリアベースまたは音域のスライダーを選択し、△/▽ボタンで設定値を選ぶ。**
   クリアベースは4段階、5つの音域は7段階で設定できます。
7. **▷II ボタンを押して決定する。**
   イコライザ項目一覧に戻ります。

前の画面に戻るには

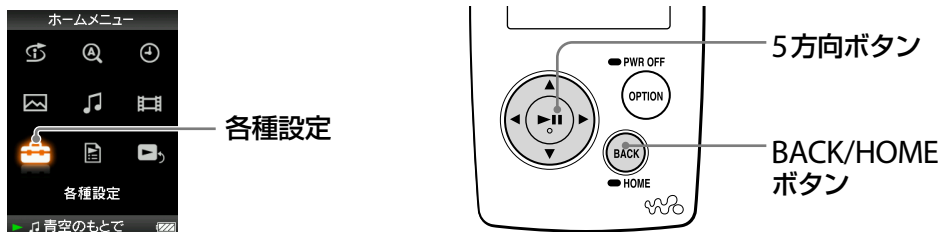
BACK/HOMEボタンを押します。

ご注意

- ビデオの音声には、「カスタム 1」や「カスタム 2」の設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

再生音に臨場感を設定する（VPT）

「スタジオ」、「ライブ」、「クラブ」、「アリーナ」から、その場所にいるような臨場感の設定を選べます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
音楽設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「VPT（サラウンド）」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
VPT項目一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷ボタンで好きなVPT設定（☞ 57ページ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

通常の音質設定に戻すには

手順❺で「オフ」を選び、▷II ボタンを押して決定します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 再生画面でも設定できます。OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションメニューから「VPT（サラウンド）」を選びます。

ご注意

- ビデオの音声には、設定は反映されません。

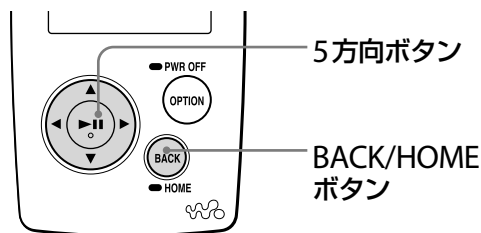
VPT 項目一覧

選んだ設定項目が、表示部に（ ）内のアイコンで表示されます。
スタジオ → ライブ → クラブ → アリーナの順で臨場感が広がります。

設定項目	説明
オフ	VPTの設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
スタジオ（((S))	録音スタジオにいるような臨場感になります。
ライブ（((L))	ライブハウスにいるような臨場感になります。
クラブ（((C))	クラブにいるような臨場感になります。
アリーナ（((A))	アリーナ会場にいるような臨場感になります。

目次
メニュー
索引

よりステレオ感を強調した音で聞く（クリアステレオ）

ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別して再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
音楽設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「クリアステレオ」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5. **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   - オン（延長コードあり）：ヘッドホン延長コードを使用している場合でも、クリアステレオ機能の効果を得られます。
   - オン（延長コードなし）：ヘッドホン延長コードを使用せずに、クリアステレオ機能の効果を得たい場合に選びます。
   - オフ：クリアステレオ機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）

次のページにつづく ⇩

前の画面に戻るには

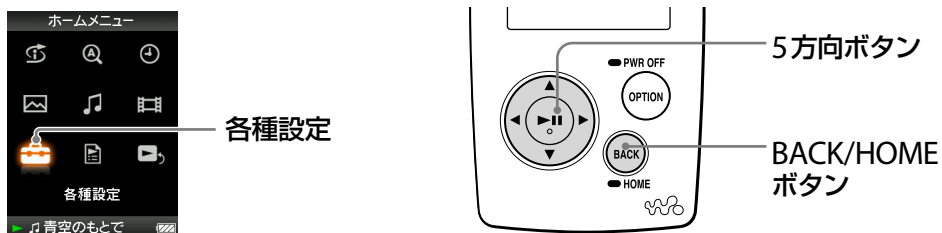
BACK/HOMEボタンを押します。

ご注意

- ビデオの音声には、設定は反映されません。
- クリアステレオ機能は、付属のヘッドホンで効果が最適になるように設定されています。他のヘッドホンではクリアステレオの効果が感じられないことがあります。その場合は、クリアステレオ機能を「オフ」にしてください。

目次
メニュー
索引

高音域の音質を補正する（DSEE（高音域補完））

圧縮音源に対して高音質化処理を施し、さらに圧縮で取り除かれた高音域を補完することで、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

1. ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2. △/▽/◁/▷ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3. △/▽/◁/▷ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
   音楽設定項目一覧が表示されます。

4. △/▽/◁/▷ボタンで「DSEE（高音域補完）」を選び、▷II を押して決定する。

5. △/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II を押して決定する。
   - オン：DSEE* 機能が有効になり、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音で再生します。
   - オフ：通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）

* DSEEとはDigital（デジタル） Sound（サウンド） Enhancement（エンハンスメント） Engine（エンジン）の略称で、ソニーが独自開発した高音域補完技術です。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

前の画面に戻るには

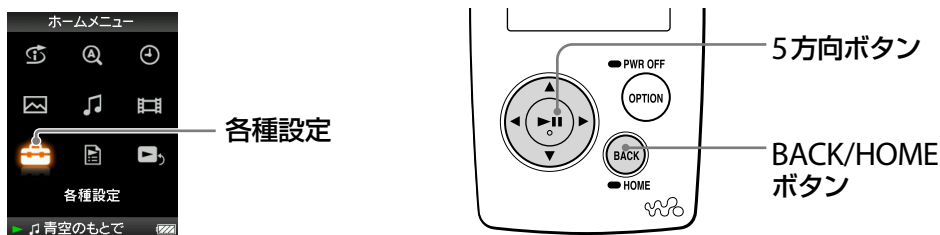
BACK/HOMEボタンを押します。

ご注意

- ビデオの音声には、設定は反映されません。
- 圧縮されていないファイル形式の曲を再生するときは、DSEE機能の効果が得られません。
- 曲の圧縮形式によっては、DSEE機能の効果が得られない場合があります。

目次
メニュー
索引

音量を揃えて再生する（ダイナミックノーマライザ）

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりするのを避けられます。

1 ホームメニューが表示されるまで BACK/HOME ボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3 △/▽/◁/▷ ボタンで「音楽設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
音楽設定項目一覧が表示されます。

4 △/▽/◁/▷ ボタンで「ダイナミックノーマライザ」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

5 △/▽/◁/▷ ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。
- オン：曲どうしの音量レベルの差が少なくなります。
- オフ：曲を取り込んだときの音量レベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

前の画面に戻るには

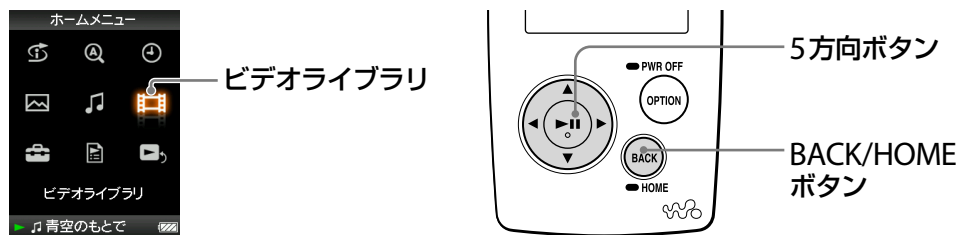
BACK/HOME ボタンを押します。

ご注意

- ビデオの音声には、設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

ビデオを再生する

付属のImage ConverterまたはWindowsのエクスプローラを使ってビデオを本機に転送すれば、本機でビデオが楽しめます。1つのビデオだけを再生したり（1ファイル再生）、保存しているすべてのビデオを続けて再生したりできます（連続再生）。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2 △/▽/◁/▷ボタンで（ビデオライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

ビデオ一覧が表示されます。

3 △/▽/◁/▷ボタンでビデオを選び、▷II ボタンを押して決定する。

ビデオの再生が始まります。

ヒント

- 手順2で表示されるビデオ一覧の表示形式を変えられます。詳しくは、「ビデオ一覧の表示形式を設定する」（☞71ページ）をご覧ください。
- ビデオ一覧で、一度も再生していないビデオには NEW アイコンが付いて表示されます。
- すべてのビデオを続けて再生する場合は、「連続再生設定」を「オン」にします（☞70ページ）。
- 本機からビデオを削除する場合は、Image Converter（☞Image Converterのヘルプ）、またはWindowsのエクスプローラを使い削除します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご注意

- 「画面表示」を「オン」に設定している場合（☞ 67ページ）、ビデオ再生中に、ビデオのタイトルや再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの詳細情報が表示されます。「オフ」に設定すると詳細情報を消して再生できます。
- ビデオ一覧で表示できるビデオファイル数は1,000ファイルです。

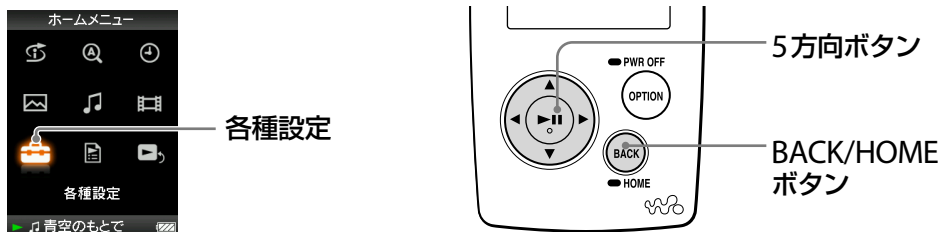
ビデオ操作について

こんなときは（表示されるアイコン）	5方向ボタンの操作
次のビデオの頭出し（▶▶I）*[1]	▽ボタンを押します。
再生中のビデオの頭出し（I◀◀）*[2]	△ボタンを押します。
少し先に進む（●➡）*[3]	再生一時停止中に▷ボタンを押します。
少し前に戻る（⬅●）*[3]	再生一時停止中に◁ボタンを押します。
再生一時停止中のビデオの早送り（▶▶）	再生一時停止中に▷ボタンを押し続けます。
再生一時停止中のビデオの早戻し（◀◀）	再生一時停止中に◁ボタンを押し続けます。
再生中のビデオの早送り（▶▶$_1$、▶▶$_2$、▶▶$_3$）	再生中に▷ボタンを押すごとに,3段階で早送り再生（▶▶$_1$（10倍）、▶▶$_2$（30倍）、▶▶$_3$（100倍））します。▷II ボタンを押すと、早送りを停止します。
再生中のビデオの早戻し（$_1$◀◀、$_2$◀◀、$_3$◀◀）	再生中に◁ボタンを押すごとに、3段階で早戻し再生（$_1$◀◀（10倍）、$_2$◀◀（30倍）、$_3$◀◀（100倍））します。▷II ボタンを押すと、早戻しを停止します。

*[1] 「連続再生設定」が「オン」に設定されている場合のみ有効です（☞ 70ページ）。
*[2] 「連続再生設定」が「オン」に設定されている場合は、△ボタンを2回押すと再生中の前のビデオの頭出しができます。
*[3] 進む/戻る間隔は、ビデオによって異なります。

目次
メニュー
索引

ビデオの表示方向を設定する

ビデオの表示方向を、「縦」、「横（右手用）」、または「横（左手用）」の3方向から選べます。

1. ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2. △/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3. △/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
   ビデオ設定項目一覧が表示されます。

4. △/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ表示方向」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

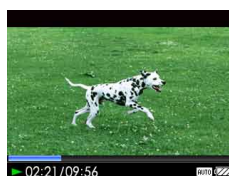
次のページにつづく ⇩

5 △/▽/◁/▷ボタンでビデオを表示したい方向を選び、▷II ボタンを押して決定する。

- 縦：240 × 180ピクセルで表示されます。（お買い上げ時の設定）
- 横（右手用）、横（左手用）：320 × 240ピクセルで表示されます。

表示方向にあわせて、対応する5方向ボタンも切り換わります。

縦

横

ヒント

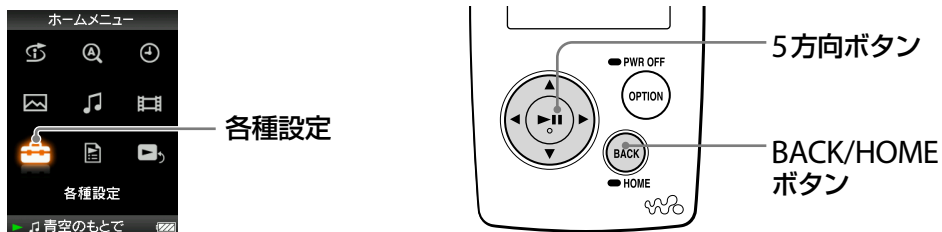
- ビデオの再生画面でも、表示方向を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ビデオ表示方向」を選びます。

ご注意

- 「画面表示」を「オン」に設定している場合（☞ 67ページ）、ビデオのタイトルや再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの詳細情報が表示されます。「オフ」に設定すると詳細情報を消して再生できます。
- 画面の表示方向を横に設定している場合、ビデオのタイトル名は表示されません。

目次
メニュー
索引

ビデオの画面表示を設定する

ビデオ再生中に、ビデオのタイトルや再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの情報を表示したり非表示にしたりできます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
ビデオ設定項目一覧が表示されます。

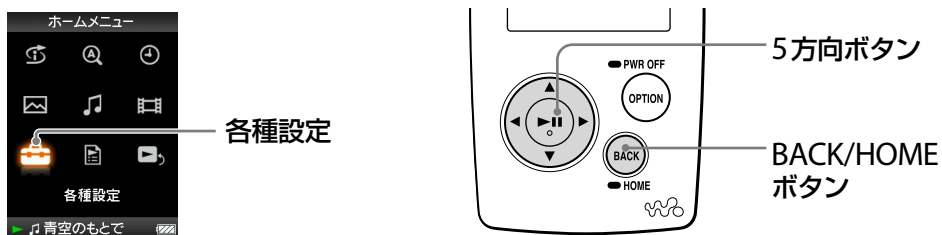
4 **△/▽/◁/▷ボタンで「画面表示」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5 **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
- オン：ビデオのタイトルや再生状態、経過時間などが表示されます。（お買い上げ時の設定）
- オフ：操作時以外は、再生中のビデオの詳細情報が表示されません。

ヒント
- ビデオの再生画面でも、画面表示を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「画面表示」を選びます。

ご注意
- 画面の表示方向を横に設定している場合、ビデオのタイトル名は表示されません。

ズーム表示を設定する

再生中のビデオを拡大して見られます。

1. ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2. △/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3. △/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
   ビデオ設定項目一覧が表示されます。

4. △/▽/◁/▷ボタンで「ズーム設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 △/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。

- オート：ビデオの横縦比を維持したままビデオの長辺が表示領域いっぱいに拡大/縮小され、表示されます。16:9（横長）のビデオは、長辺が表示領域いっぱいに表示され、画面の上下は黒く表示されます。（お買い上げ時の設定）
- フル：ビデオの横縦比を維持したまま、ビデオの短辺が表示領域いっぱいになるように拡大/縮小され、表示されます。16:9（横長）のビデオは短辺が表示領域いっぱいに表示され、左右は切り取られて表示されます。
- オフ：拡大/縮小はしないで保存されているビデオの解像度で表示されます。

オート

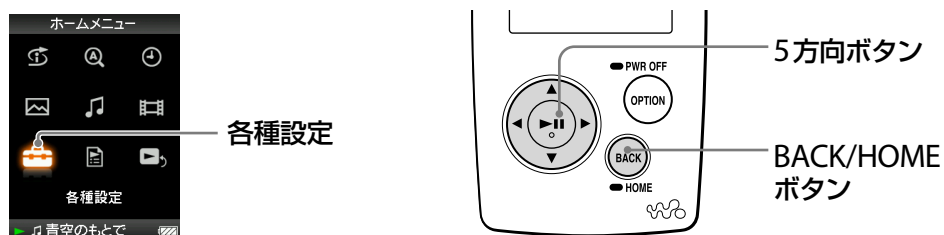
フル

オフ

ヒント

- ビデオの再生画面でも、ズーム設定ができます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ズーム設定」を選びます。

ビデオを続けて再生する（連続再生設定）

本機に保存しているすべてのビデオを続けて再生できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   ビデオ設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「連続再生設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5. **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   - オン：本機に保存されているすべてのビデオを続けて再生します。
   - オフ：選んだ1つのビデオだけを再生します。（お買い上げ時の設定）

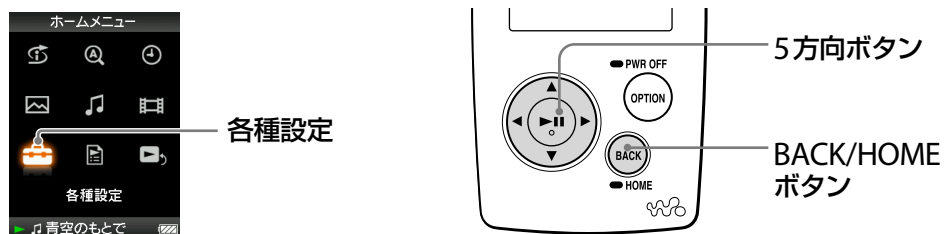
ヒント

- 「オフ」に設定した場合、本機に保存されている各ビデオの再生位置が記録され、次回再生時に続きから再生できます。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

ビデオ一覧の表示形式を設定する

ビデオ一覧の表示形式を「タイトル名のみ」、「サムネイル*あり」または「サムネイルのみ」の3通りの表示形式から選べます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

ビデオ設定項目一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ一覧表示形式」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5 **△/▽/◁/▷ボタンで表示形式を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

- タイトル名のみ：ビデオのタイトルのみ表示されます。
- サムネイルあり：サムネイルとビデオのタイトル、再生時間が表示されます。（お買い上げ時の設定）
- サムネイルのみ：サムネイルのみが表示されます。

* サムネイルとは、ビデオ開始画面の縮小表示のことです。

ヒント

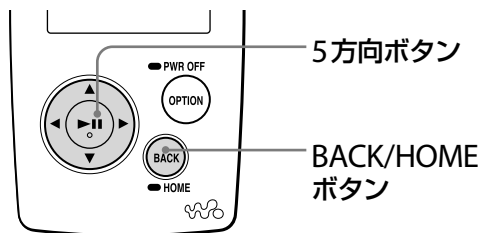
- ビデオ一覧画面でも表示形式を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ビデオ一覧表示形式」を選びます。

ご注意

- ファイル形式によっては、サムネイルが表示されないことがあります。

目次
メニュー
索引

ホールド中の表示を設定する

ビデオ再生中にホールド状態にしたとき、通常どおりビデオ再生したり、画面をオフにしてビデオの音声だけ楽しむことができます。
画面をオフにすれば、消費電力を抑え、電池を長持ちさせることができます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「ビデオ設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
ビデオ設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「ホールド中のビデオ表示」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❺ **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
- する：ホールド状態にするとボタン操作は無効になり、通常どおりビデオ再生を楽しめます。（お買い上げ時の設定）
- しない（音声のみ）：ホールド状態にするとボタン操作は無効になり、画面が消えビデオの音声だけを楽しむことができます。

目次
メニュー
索引

ビデオのオプションメニューを表示する

ビデオ一覧などのリスト画面（サムネイル画面を含む）やビデオの再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、ビデオのオプションメニューを表示できます。オプションメニューからビデオの各種設定などができます。なお、オプションメニューを表示した画面によって、メニュー項目が異なります。

リスト画面と再生画面共通で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
頭出し再生	ビデオをはじめから再生します（☞ 64ページ）。
詳細情報	ビデオのファイルサイズ、解像度、ビデオ/オーディオファイルの圧縮形式、ファイル名などが表示されます。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生画面が表示されます。

リスト画面のみで表示される項目

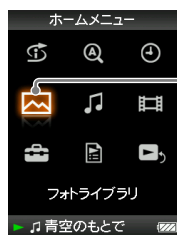
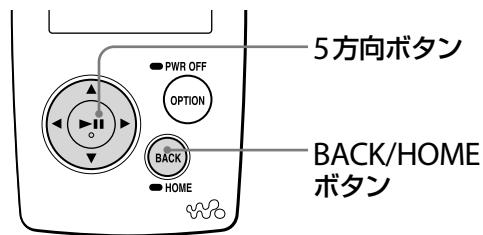
項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
ビデオ一覧表示形式	ビデオ一覧の表示形式を設定します（☞ 71ページ）。
最近再生したビデオ	前回再生したビデオを再生します。

再生画面のみで表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
ズーム設定	ズームを設定します（☞ 68ページ）。
ビデオ表示方向	ビデオを表示する方向を設定します（☞ 65ページ）。
画面表示	ビデオの情報を表示します（☞ 67ページ）。
輝度設定	画面の明るさを設定します（☞ 88ページ）。

目次
メニュー
索引

写真を選んで見る

付属のImage ConverterまたはWindowsのエクスプローラを使って写真を本機に転送すれば、本機で写真が楽しめます。1枚の写真だけを表示したり（1枚表示）、フォルダ内の写真を続けて再生したり（スライドショー再生）（☞ 79ページ）できます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（フォトライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
フォトフォルダ一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンでフォルダを選び、▷II ボタンを押して決定する。**
フォト一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで写真を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
選んだ写真が表示されます。
◁/▷ボタンを押せば、前後の写真が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- フォトの再生画面や、フォトフォルダー一覧またはフォト一覧で写真を検索中でも、曲の再生は継続します。
- 選んだフォトフォルダ内の写真を続けて再生できます（スライドショー再生）（☞ 79ページ）。
- 本機に転送した写真をフォルダごとに整理できます。Windowsのエクスプローラで本機（「WALKMAN」または「リムーバブル ディスク」）を選び、「DCIM」フォルダの直下にフォルダを作成し写真を移動します。
  また、認識されるフォルダは「DCIM」直下の1階層のみで、直接「DCIM」フォルダの中に写真を移動しても認識されません。

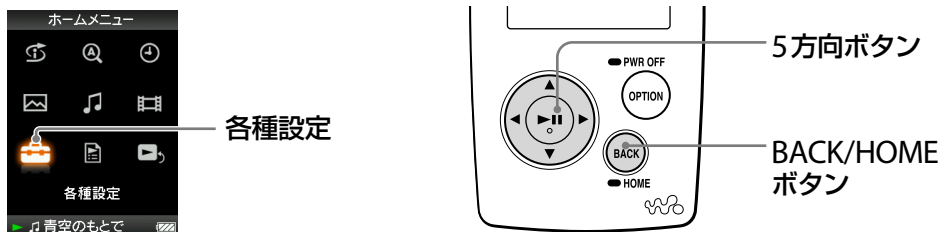
- 本機から写真を削除する場合は、Image Converter（☞ Image Converterのヘルプ）、またはWindowsのエクスプローラを使い削除します。
  なお、以下の操作を行うと、Image Converterでは削除できなくなります。
  －本機に転送後、エクスプローラでファイル名を変更した場合
  －「DCIM」フォルダ内にフォルダを作成して写真を移動した場合

ご注意

- フォトフォルダー一覧で表示できるフォルダ数は1,000個、フォト一覧で表示できる写真の枚数は最大10,000枚です。
- 複数のフォトフォルダに写真がある場合、表示できる写真の枚数は合計10,000枚です。
- 写真のサイズが大きい場合、またはデータが壊れている場合は が表示され、再生できません。
- DCF 2.0に準拠していない場合（フォルダ名やファイル名が長い場合など）は、動作に時間がかかることがあります。
- 本機を初期化すると（☞ 98ページ）、「DCIM」フォルダも削除されます。初期化したあとは再度フォルダを作成し、転送してください。
- 「DCIM」フォルダ名は、必ず大文字で表記してください。

目次
メニュー
索引

写真の表示方向を設定する

写真の表示方向を、「縦」、「横(右手用)」、または「横(左手用)」の3方向から選べます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで (各種設定)を選び、▷॥ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「フォト設定」を選び、▷॥ボタンを押して決定する。**
   フォト設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「写真表示方向」を選び、▷॥ボタンを押して決定する。**

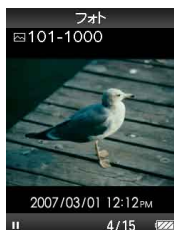
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 **△/▽/◁/▷ ボタンで写真を表示したい方向を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

- 縦：240 × 180 ピクセルで表示されます。（お買い上げ時の設定）
- 横（右手用）、横（左手用）：320 × 240 ピクセルで表示されます。

表示方向にあわせて、対応する5方向ボタンも切り換わります。

縦

横

ヒント

- 写真の再生画面でも、写真の表示方向を設定できます。OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションメニューから「写真表示方向」を選びます。

目次
メニュー
索引

写真の画面表示を設定する

写真を表示中に、画面に再生状態を示すアイコンなどを表示したり、非表示にしたりできます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「フォト設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

フォト設定項目一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「画面表示」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5 **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

- オン：写真のタイトル、撮影日時、再生状態、表示中のフォト番号などが表示されます。（お買い上げ時の設定）
- オフ：表示中の写真の情報は表示されません。

ヒント

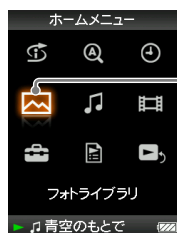
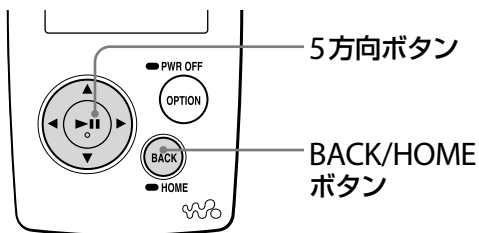
- 写真の再生画面でも、画面表示の設定ができます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「画面表示」を選びます。

ご注意

- 「写真表示方向」を「横（右手用）」または「横（左手用）」に設定している場合（☞76ページ）、「画面表示」を「オン」に設定していても写真のタイトルは表示されません。

目次
メニュー
索引

スライドショーを見る

選んだフォトフォルダ内の写真を連続して再生できます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（フォトライブラリ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
フォトフォルダ一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷ボタンでフォトフォルダを選び、▷II ボタンを押し続ける。**
スライドショーの再生が始まります。

ヒント

- スライドショーの再生は、以下の操作でも始められます。
  - フォト一覧で▷II ボタンを押し続ける。
  - 写真の再生画面で▷II ボタンを押す。
  - フォトフォルダ一覧またはフォト一覧でOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「スライドショーの開始」を選ぶ。

ご注意

- スライドショー再生中は、自動的に画面表示が消えたり、スクリーンセーバーに切り換わることはありません。

目次
メニュー
索引

スライドショーの再生方法を設定する

写真を繰り返し再生できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「フォト設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   フォト設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「スライドショーリピート」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5. **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   - オン：フォトフォルダの最後の写真を表示後、最初の写真からスライドショー再生を継続します。
   - オフ：フォトフォルダの最後の写真を表示後、最初の写真に戻り再生を一時停止します。（お買い上げ時の設定）

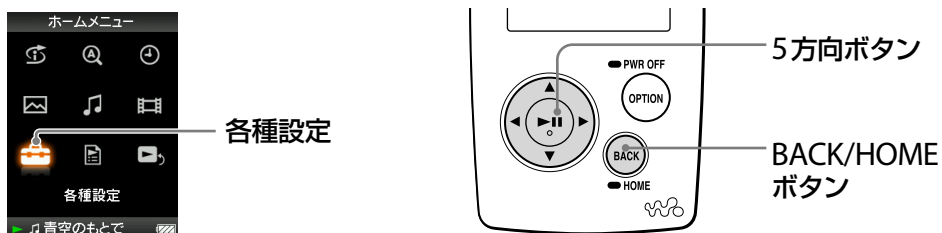
ヒント

- 写真の再生画面でも、スライドショーの再生方法を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「スライドショーリピート」を選びます。

ご注意

- スライドショー再生中は、自動的に画面表示が消えたり、スクリーンセーバーに切り換わることはありません。

スライドショーの間隔を設定する

スライドショーで次の写真を表示するまでの間隔を設定できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「フォト設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   フォト設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「スライドショー間隔設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5. **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   「短い」、「標準」（お買い上げ時の設定）、「長い」の中から選んだ速さでスライドショーの間隔が設定されます。

ヒント

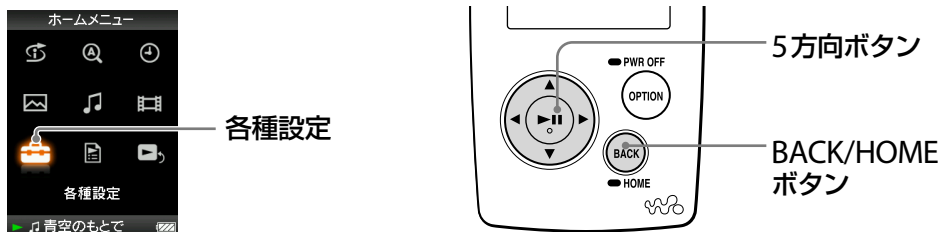
- 写真の再生画面でも、スライドショーの間隔設定ができます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「スライドショー間隔設定」を選びます。

ご注意

- 写真のサイズが大きい場合、切り換わりに時間がかかることがあります。

目次
メニュー
索引

フォト一覧の表示形式を設定する

フォト一覧の表示形式を、「タイトル名のみ」、「サムネイル*あり」、または「サムネイルのみ」の3つの表示形式から選べます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「フォト設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

フォト設定項目一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「写真一覧表示形式」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5 **△/▽/◁/▷ボタンで表示形式を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

- タイトル名のみ：タイトルのみ表示されます。
- サムネイルあり：サムネイルやタイトルが表示されます。
- サムネイルのみ：サムネイルのみが表示されます。（お買い上げ時の設定）

* サムネイルとは、写真の縮小表示のことです。

ヒント

- フォト一覧画面でも表示形式を設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「写真一覧表示形式」を選びます。

写真のオプションメニューを表示する

フォトフォルダー覧などのリスト画面（サムネイル画面を含む）や写真の再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、写真のオプションメニューを表示できます。オプションメニューからフォトの各種設定などができます。
なお、オプションメニューを表示した画面によって、メニュー項目が異なります。

リスト画面と再生画面共通で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生画面が表示されます。

リスト画面のみで表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
スライドショーの開始	スライドショー再生を始めます（☞ 79ページ）。
写真一覧表示形式	フォト一覧の表示形式を設定します（☞ 82ページ）。
最近見た写真	前回見た写真を再生します。

再生画面のみで表示される項目

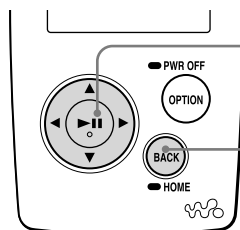
項目	説明 / 参照ページ
写真表示方向	写真の表示方向を設定します（☞ 76ページ）。
画面表示	写真の情報を表示します。
スライドショーリピート	スライドショーの再生方法を設定します（☞ 80ページ）。
スライドショー間隔設定	スライドショーの間隔を設定します（☞ 81ページ）。
輝度設定	画面の明るさを設定します（☞ 88ページ）。

ご注意

- 選択中のフォトフォルダに写真が1枚もない場合、「スライドショーの開始」は選択しても無効です。

目次
メニュー
索引

音もれを抑える（AVLS（音量制限））

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞けます。
お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「AVLS（音量制限）」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5. **△/▽/◁/▷ボタンで「オン」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「オフ」にするには

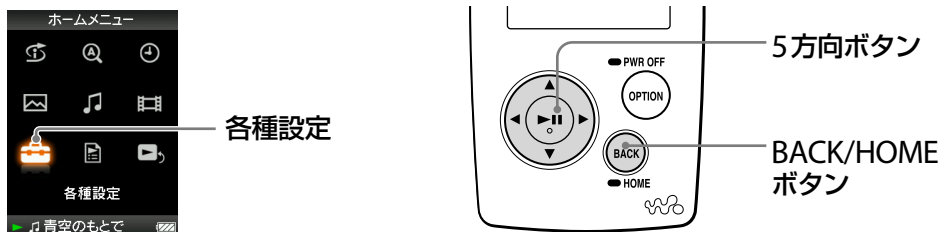
手順5で「オフ」を選び、▷II ボタンを押して決定します。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

ピッという確認音を鳴らさないようにする

本体の確認音を消せます。
お買い上げ時は、「オン」に設定されています。

1. ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2. △/▽/◁/▷ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3. △/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。
共通設定項目一覧が表示されます。

4. △/▽/◁/▷ボタンで「操作確認音」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

5. △/▽/◁/▷ボタンで「オフ」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

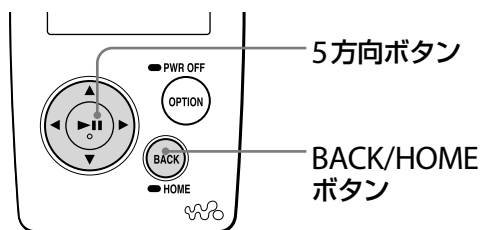
手順5で「オン」を選び、▷II ボタンを押して決定します。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

画面の表示時間を設定する

曲の再生中に一定時間操作がない場合、画面表示が消えるまでの時間を設定できます。スクリーンセーバーを表示する設定にしている場合は（☞87ページ）、スクリーンセーバーに切り換わるまでの時間を設定できます。

1 **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3 **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷ボタンで「画面表示時間」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

5 **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
設定時間は「15秒」、「30秒」（お買い上げ時の設定）、「60秒」、「常時表示」から選べます。
「常時表示」を選ぶと、常に画面を表示し、スクリーンセーバーに切り換わりません。

前の画面に戻るには

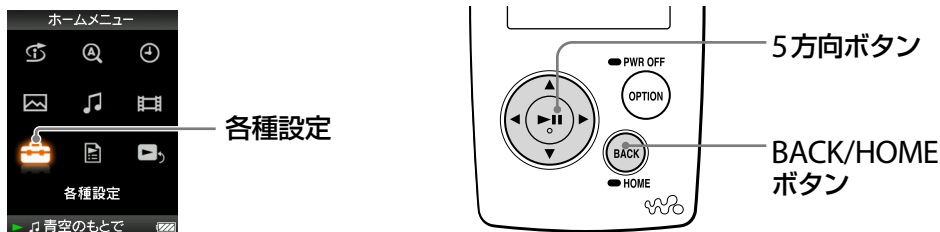
BACK/HOMEボタンを押します。

ヒント

- スクロール中は表示を続けます。

目次
メニュー
索引

スクリーンセーバーを設定する

一定時間操作がない場合、スクリーンセーバー（時計表示）に切り換わります。また、スクリーンセーバーを表示させない設定にもできます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「スクリーンセーバー」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

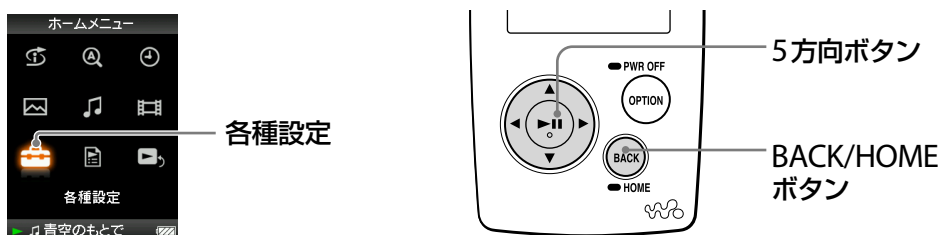
❺ **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
- あり：「画面表示時間」（☞ 86ページ）で設定した時間操作がない場合、スクリーンセーバーに切り換わります。（お買い上げ時の設定）
- なし：スクリーンセーバーを表示しません。

ご注意

- 「画面表示時間」（☞ 86ページ）を「常時表示」に設定している場合は、スクリーンセーバーに切り換わりません。

目次
メニュー
索引

画面の明るさを設定する（輝度設定）

表示画面の明るさを5段階で設定できます。

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   共通設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「輝度設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   輝度設定画面が表示されます。

5. **△/▽/◁/▷ボタンで明るさを調整し、▷II ボタンを押して決定する。**
   お買い上げ時は3に設定されています。

前の画面に戻るには

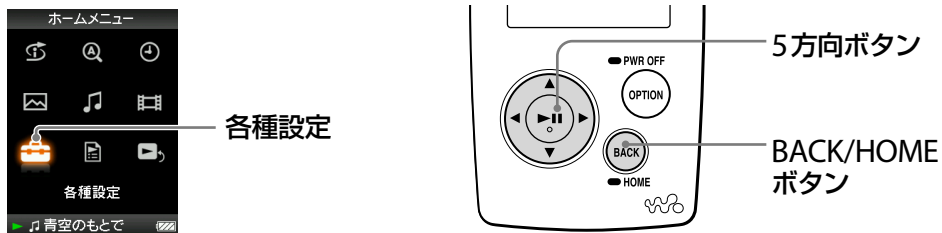
BACK/HOMEボタンを押します。

ヒント

- ビデオや写真を再生中にも明るさを設定できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「輝度設定」を選び調整します。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（日付時刻設定）

現在時刻を手動またはパソコンなどの接続機器の時刻に合せて設定できます。

現在時刻の設定方法を選ぶ

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   共通設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「日付時刻設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   日付時刻設定画面が表示されます。

5. **△/▽/◁/▷ボタンで設定方法を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   - 対応ソフト・機器と同期：次回、SonicStageを起動させて、本機とパソコンを接続すると、本機の時刻がパソコンの時刻と同期して設定されます。（お買い上げ時の設定）
   - マニュアル設定：現在時刻を手動で設定します。詳しくは、「現在時刻を手動で設定する」（☞ 91ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

時計を表示させるには

- ホームメニューから (時計表示)を選びます。
- 音楽の再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「時計表示」を選びます。

ヒント

- 日付の表示形式は、「年/月/日」、「月/日/年」、「日/月/年」の3種類から選べます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「日付の表示形式を設定する」(☞92ページ)、または「時刻の表示形式を設定する」(☞93ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置するなど、放電しきると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

現在時刻を手動で設定する

1. **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
3. **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   共通設定項目一覧が表示されます。
4. **△/▽/◁/▷ボタンで「日付時刻設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   日付時刻設定画面が表示されます。
5. **△/▽/◁/▷ボタンで「マニュアル設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   マニュアル設定画面が表示されます。
6. **◁/▷ボタンで年を選び、△/▽ボタンで年の数字を選ぶ。**
7. **手順6で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力し、▷II ボタンを押して決定する。**

前の画面に戻るには

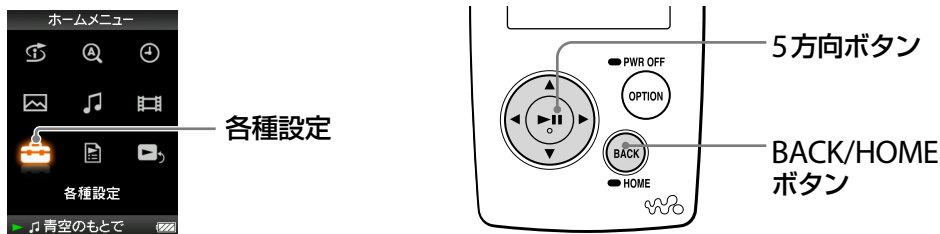
BACK/HOMEボタンを押します。

ご注意

- 「日付時刻設定」が「対応ソフト・機器と同期」に設定されている場合は、時計を手動で設定できません。
- 「日付時刻設定」を「マニュアル設定」に設定した場合は、1か月で最大130秒の誤差が生じる場合があります。「対応ソフト・機器と同期」に設定して使用することをおすすめします。「マニュアル設定」に設定して時刻に誤差が生じた場合は、手動で時刻を修正してください。

目次
メニュー
索引

日付の表示形式を設定する

現在時刻（☞ 89ページ）に表示される日付の表示形式を、「年/月/日」、「月/日/年」、「日/月/年」の3種類から選べます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「日付表示形式」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
日付表示形式設定画面が表示されます。

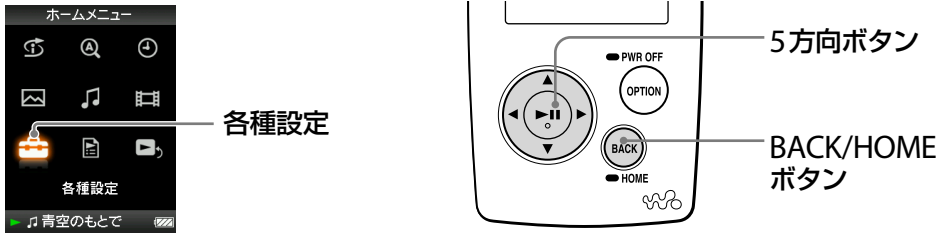
❺ **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
設定値は、以下の3種類から選べます。
- 年/月/日：日付が「年/月/日」の形式で表示されます。
- 月/日/年：日付が「月/日/年」の形式で表示されます。
- 日/月/年：日付が「日/月/年」の形式で表示されます。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する

現在時刻（☞89ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。

❶ **ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「時刻表示形式」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
時刻表示形式設定画面が表示されます。

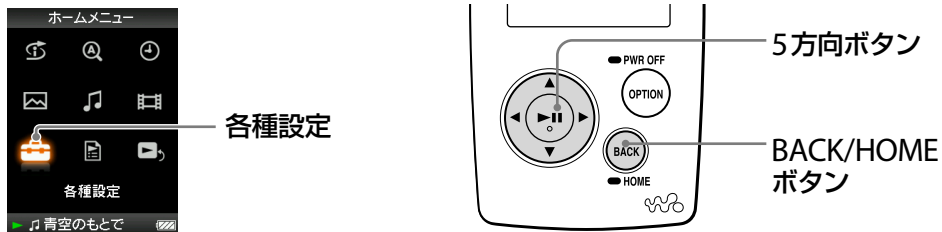
❺ **△/▽/◁/▷ボタンで設定を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
- 12時間表示：現在時刻の表示形式を12時間表示にします。
- 24時間表示：現在時刻の表示形式を24時間表示にします。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の情報を表示する（本体情報）

本機の機種名やシリアル番号、ファームウェアのバージョンなどを表示できます。

1. **ホームメニューが表示されるまで BACK/HOME ボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ ボタンで （各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   共通設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ ボタンで「本体情報」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
   本体情報一覧（☞ 95 ページ）が表示されます。

前の画面に戻るには

BACK/HOME ボタン、または ▷II ボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体情報一覧

本体情報	説明
型名：	本機の型名を表示します。
シリアル番号：	シリアル番号を表示します。カスタマー登録の際に、シリアル番号の入力が必要となります。
本体ソフトウェア：	ファームウェアのバージョンを表示します。
総曲数：	本機に保存されている総曲数を表示します。
総ビデオファイル数：	本機に保存されている総ビデオファイル数を表示します。
総写真数：	本機に保存されている総写真数を表示します。
データベース：	本機の動作モードを表示します。「Simple Mode」または「Advance Mode」があります。
WM-PORT：	WM-PORTのバージョンを表示します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す（設定初期化）

各種設定メニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。
お買い上げ時の状態に戻しても、保存しているデータは削除されません。

ご注意

- この操作は、再生一時停止中にのみ実行できます。

---

❶ **再生一時停止中に、ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

---

❷ **△/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。**

---

❸ **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
共通設定項目一覧が表示されます。

---

❹ **△/▽/◁/▷ボタンで「設定初期化」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
設定初期化画面が表示されます。

---

❺ **△/▽ボタンで「はい」を選び、▷II ボタンを押して決定する。**
「設定を工場出荷時の状態に戻しました。」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

途中で操作をやめるには

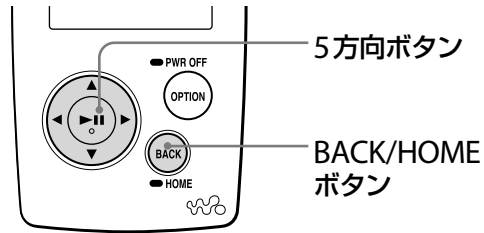
手順❺で「いいえ」を選び、▷II ボタンを押して決定します。
設定を中止し、共通設定項目一覧に戻ります。

前の画面に戻るには

BACK/HOME ボタンを押します。

メモリーを初期化する

本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)できます。
初期化すると、曲、ビデオ、写真のデータがすべて消去されます。初期化する前に内容を確認し、必要なデータはSonicStageに取り込むか、パソコンのハードディスク内に保存してください。

ご注意

- この操作は、再生一時停止中にのみ実行できます。

1. **再生一時停止中に、ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **△/▽/◁/▷ボタンで (各種設定)を選び、▷ⅡIIボタンを押して決定する。**

3. **△/▽/◁/▷ボタンで「共通設定」を選び、▷IIボタンを押して決定する。**
   共通設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷ボタンで「メモリー初期化」を選び、▷IIボタンを押して決定する。**
   「曲などのファイルを含んだ全てのデータが削除されます。実行しますか?」と表示されます。

5. **△/▽ボタンで「はい」を選び、▷IIボタンを押して決定する。**
   「全てのデータを削除します。本当に実行しますか?」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

❻ △/▽ボタンで「はい」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

メモリー初期化中は、アニメーションが表示されます。
初期化が終了すると「メモリーの初期化が完了しました。」と表示されます。

途中で操作をやめるには

手順❺または手順❻で「いいえ」を選び、▷II ボタンを押して決定します。

前の画面に戻るには

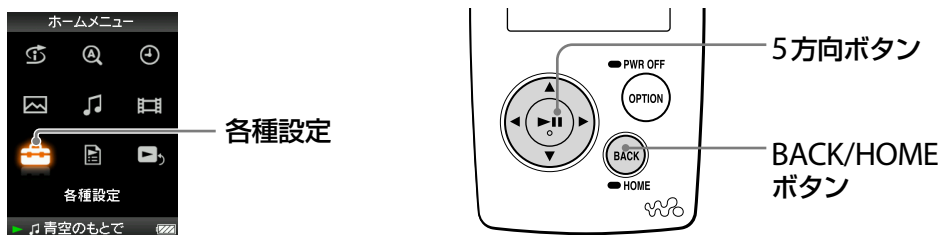
BACK/HOMEボタンを押します。

ご注意

- Windowsのエクスプローラで内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。

目次
メニュー
索引

表示言語を設定する（言語設定（Language））

メニューやメッセージの言語を選べます。

1. ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押し続ける。

2. △/▽/◁/▷ボタンで（各種設定）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

3. △/▽/◁/▷ボタンで「言語設定（Language）」を選び、▷II ボタンを押して決定する。

4. △/▽/◁/▷ボタンで表示言語（☞ 101ページ）を選び、▷II ボタンを押して決定する。

前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示言語一覧

表示言語	説明
Deutsch	ドイツ語で表示します。
English	英語で表示します。
Español	スペイン語で表示します。
Français	フランス語で表示します。
Italiano	イタリア語で表示します。
Русский	ロシア語で表示します。
日本語	日本語で表示します。
한글	韓国語で表示します。
简体中文	中国語（簡体字）で表示します。
繁體中文	中国語（繁体字）で表示します。

目次
メニュー
索引

本機の充電について

本機は起動しているパソコンと接続することによって、充電されます

本機とパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを使います。
電池残量表示が FULL になったら、充電完了です（充電時間：約3時間）。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が FULL になるまで充電することをおすすめします。

電池残量の表示について

ご使用中、表示部の電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、☞ 137ページをご覧ください。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「電池残量がありません。充電してください。」と表示された場合は、操作できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 電池を使いきった状態から充電が可能な回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と本機の表示部に表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、本機をパソコンから抜かないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機の操作はできません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

手動で電源を切る

OPTION/PWR OFFボタンを押し続けると、画面表示が消えて再生待機状態になり、電池の消耗を抑えられます。
さらに、再生待機状態のまま約1日経過すると、自動的に電源が切れます。

画面表示を設定する

「画面表示時間」を「15秒」（☞ 86ページ）、「曲切り換わり時表示」を「オフ」（☞ 33ページ）、「スクリーンセーバー」を「なし」に設定すれば（☞ 87ページ）、他の画面設定より電池が長持ちします。

画面の明るさを設定する

「輝度設定」で輝度を下げれば（☞ 88ページ）、電池が長持ちします。

音質設定をオフにする

音質と音量の設定（「イコライザ」（☞ 53ページ）、「VPT（サラウンド）」（☞ 56ページ）、「クリアステレオ」（☞ 58ページ）、「DSEE（高音域補完）」（☞ 60ページ）、「ダイナミックノーマライザ」（☞ 62ページ））を「オフ」に設定すれば、電池が長持ちします。

ホールド中にビデオを表示しない設定にする

「ホールド中のビデオ表示」を「しない（音声のみ）」に設定すれば（☞ 72ページ）、電池が長持ちします。

パソコン接続時のご注意

USB接続時にパソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入ると、充電されないため電池が消耗します。

次のページにつづく ⇩

データのファイル形式やビットレートを変える

曲やビデオ、写真のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）* が変わります。
例えば、音楽データの場合、ATRAC 132 kbpsは約30時間、MP3 128 kbps は約33時間再生できます。なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG-1 Audio Layer3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）は、「ATRAC3」、「ATRAC3plus」および「ATRAC Advanced Lossless」の総称です。高音質と高圧縮を両立させた「ATRAC3」では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、「ATRAC3plus」では、約20分の1に圧縮できます。
「ATRAC Advanced Lossless」は、音質を全く劣化させずに録音することができる音声圧縮技術です。従来機器との再生互換性を維持するため、ATRAC3またはATRAC3plusの音声圧縮技術と組み合せてデータを圧縮し、データサイズをCDの約30 ～ 80%*に抑えて記録できます。

* 楽曲によって圧縮率が異なります。

AAC：Advanced Audio Codingの略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

ビデオファイル形式とは

映像と音声を圧縮し、まとめて保存するときのファイル形式です。ビデオファイル形式には、MPEG-4やAVCなどがあります。

MPEG-4（エムペグフォー）：MPEG-4（Moving（ムービング） Picture（ピクチャー） Experts（エクスパーツ） Group（グループ） phase（フェーズ） 4）の略で、MPEGで定めた規格の1つです。映像や音声の圧縮方式です。

AVC（エーブイシー）：Advanced（アドバンスド） Video（ビデオ） Coding（コーディング）の略で、MPEGで定めた規格の1つです。低いビットレートでよりきれいな画質を実現します。AVCファイルには4種類のプロファイルがあり、「AVC Baseline Profile」もその1つです。ISOのMPEG-4 AVC規格に準拠しており、MPEG-4 Part 10 Advanced Video Codingとして標準化されているため、一般的にH.264/MPEG-4 AVCやH.264/AVCと呼ばれています。

写真のファイル形式とは

画像をパソコンなどに取り込み、静止画ファイルとして保存するときのファイル形式です。静止画ファイル形式には、JPEGなどがあります。

JPEG（ジェイペグ）：JPEG（Joint（ジョイント） Photographic（フォトグラフィック） Experts（エクスパーツ） Group（グループ））で定めた画像データの圧縮形式です。画像データを1/10から1/100に圧縮できます。

本機で再生できるファイル形式とビットレートについては

- 本機で再生できるデータのファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞135ページをご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC*形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC*形式でSonicStageに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、全曲まとめて一度に同じビットレートのATRAC*形式で取り込む必要があります。

* ATRAC Advanced Losslessは除く。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- SonicStageでは、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。本機にはこの情報を含めて転送されるため、読み仮名で検索できます。
- アーティストの姓と名の間にスペースがない方が、読み仮名検索の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の間にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

データファイルを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上に「WALKMAN」または「リムーバブル ディスク」として、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、SonicStageやImage Converterは使わないでください。
- エクスプローラを使って、音楽データを転送しても本機では再生できません。付属のSonicStageを使って転送してください。
- データへのアクセス中は、USBケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSBケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機上で行ってください（☞ 98ページ）。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行えます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

1. **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。**

2. **本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。**

3. **アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。**
   これでファームウェアのアップデートは完了です。

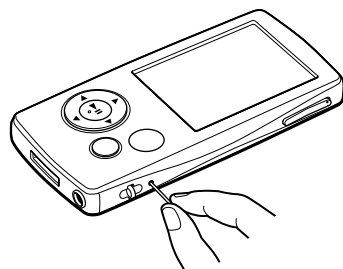
目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2 クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。

動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去される場合があります。

3 SonicStageやImage Converterを使用しているときは、ソフトウエアのヘルプで調べる。

4 「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

5 手順1 ～ 4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞ 143ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因 / 処置
再生音が出ない	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（☞ 11ページ）。 • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞ 10ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 曲やビデオが入っていない → 表示されるメッセージに従って、パソコンから音楽やビデオのデータを転送してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因 / 処置
音楽やビデオが再生されない、写真が表示されない	• 曲やビデオ、写真が入っていない → 表示されるメッセージに従って、パソコンから音楽やビデオ、写真のデータを転送してください。 • 本機が対応していないビデオを再生しようとしている → ビデオのフォーマットによっては、再生できない場合があります（☞ 135ページ）。 • 本機が対応していない写真を表示しようとしている → 写真のファイルサイズやフォーマットによっては、表示できない場合があります（☞ 135ページ）。
転送したビデオがリストに表示されない	• 対応していないフォーマットで記録されたビデオは本機で認識されず、リストに表示されません（☞ 135ページ）。 • パソコンから本機に転送したビデオのファイル名を変更したり、ファイルの場所を移動したりすると本機で認識されない場合があり、リストに表示されません。
転送した写真がリストに表示されない	• 対応していないフォーマットで記録された写真は本機で認識されず、リストに表示されません（☞ 135ページ）。 • 転送した写真をフォルダごとに整理した場合、正しい場所に保存されているか確認してください（☞ 75ページ）。
1つのアルバムなど限られた範囲でしか再生されない	•「再生範囲設定」（☞ 49ページ）が「選択範囲内を再生」に設定されている → 再生範囲の設定を変更してください。
ビデオや写真を削除できない	• ビデオや写真は本機上で削除できません → Image Converter（☞ Image Converterのヘルプ）、またはWindowsのエクスプローラを使い削除してください。
雑音が入る	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している → 携帯電話などを本機から離して使用してください。 • CDなどから取り込んだ音楽データが破損している → データを削除して取り込み、転送し直してください。曲を取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
VPT設定、クリアステレオ機能の効果が感じられない	• 別売りのクレードルなどを使用して外部スピーカーに音声を出力した場合、ヘッドホンで聞いたときよりもVPT設定やクリアステレオ機能の効果が感じられないことがあります。これはヘッドホンで最適になるように設計されているためで故障ではありません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
ボタン操作に反応しない	• HOLDスイッチがHOLDの位置になっている → HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞ 11ページ）。 • 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している → 充分に充電してください（☞ 102ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 111ページ）。
再生を停止できない	• 本機では、再生の停止は一時停止になります。▷II ボタンを押すと、II が表示され、再生を一時停止します。
本機が動作しない	• 電池が消耗している → 充分に充電してください（☞ 102ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 111ページ）。
転送した曲やビデオ、写真が見つからない	• Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した → 本機上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞ 98ページ）。 • 転送中、本機からUSBケーブルが抜けた → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機上で、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞ 98ページ）。
再生音が大きくならない	• AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください（☞ 84ページ）。
右チャンネルから音が出ない、または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない → 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 10ページ）。
再生していたら急に音が止まった	• 電池が消耗している → 充電してください（☞ 102ページ）。 • 本機で再生できない音楽データ、またはビデオデータを再生しようとしている → 別の曲やビデオを選び、再生してください。

次のページにつづく ⇩

表示部

症状	原因 / 処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている ➔ 付属のSonicStageまたはImage Converterソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
写真を表示中に、画面が暗くなった	• 写真を表示中に「画面表示時間」（☞ 86ページ）で設定した時間以上操作がなかった ➔ いずれかのボタンを押してください。
表示が消える	• 再生一時停止中に30秒以上操作がなかった ➔ いずれかのボタンを押してください。 • スクリーンセーバーを「なし」に設定した状態で（☞ 87ページ）、「画面表示時間」で設定した時間以上操作がなかった ➔ いずれかのボタンを押してください。 ➔ スクリーンセーバーを「あり」に設定する（☞ 87ページ）、または「画面表示時間」を「常時表示」に設定してください（☞ 86ページ）。 • ビデオ設定の「ホールド中のビデオ表示」を「しない（音声のみ）」に設定している ➔ HOLDスイッチを逆の位置にスライドさせ（☞ 11ページ）、ホールドを解除してください。 ➔「ホールド中のビデオ表示」を「する」に設定してください（☞ 72ページ）。ホールド中でもビデオ再生が楽しめます。
メッセージが出ている	• メッセージ一覧をご覧ください（☞ 120ページ）。

次のページにつづく ⇩

電源

症状	原因 / 処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している ➔ 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない ➔ FULL が表示されるまで充電してください。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞ 103ページ）。 • 本機を長期間使用していなかった ➔ 何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。 • 充電式電池の交換が必要 ➔ ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
充電できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ➔ 付属のUSBケーブルを使用してください。 • 5℃～ 35℃の範囲外の環境で充電している ➔ 5℃～ 35℃の環境で充電してください。 • パソコンの電源が入っていない ➔ パソコンの電源を入れてください。 • パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている ➔ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
本機の電源が自動的に切れた	• 再生待機状態のまま約1日放置した ➔ いずれかのボタンを押すと電源が入ります。
充電がすぐに終わる	• 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage/Image Converter

症状	原因/処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている → パソコンの動作環境を確認してください（☞ 139ページ）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない → ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない → ハードディスクの空き容量は240MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている → Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してください。 • メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある → [Alt] キーを押しながら [Tab] キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。 • 日本語以外のOSを使っている → 日本語OS以外にはインストールできません。
インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStage、またはImage Converterが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage/Image Converter(つづき)

症状	原因/処置
USBケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示部に「USB接続中」と表示されない	● USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → 付属のUSBケーブルを使ってください。 ● USBハブを使用している → USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 ● ソフトウェアの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 ● パソコン上でほかのソフトウェアが起動している → しばらくしてから、USBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、USBケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 ● ソフトウェアのインストールに失敗している → 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだデータは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	● USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ● USBハブを使用している → USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 ● 接続しているUSBコネクタに不具合がある可能性があります。パソコンの別のUSBコネクタに接続してください。

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/SonicStage/Image Converter(つづき)

症状	原因/処置
転送できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している → 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。 • SonicStage以外のソフトウェアを使って、CDなどから取り込んだ著作権保護されたWMAファイルは、SonicStageへ取り込んでもフォーマット変換できないため、本機へ転送できません。 • 本機に異常のあるデータが入っている → 必要なデータをパソコンに戻し、本機を初期化してください。(☞ 98ページ) • 付属のソフトウェアを使っていない → 付属のソフトウェアをインストールし、データを転送してください。 • データが破損している → 転送できないデータをパソコンから削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
転送できるデータが少ない	• 本機の空き容量が不足している → 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機で再生するデータ以外のデータが入っている → 本機で再生するデータ以外のデータが入っていると、転送できる曲やビデオ、写真が減ります。本機で再生するデータ以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage/Image Converter（つづき）

症状	原因/処置
パソコンに曲を戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。初めに曲を転送したパソコンへ戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んでをクリックして削除してください。 • 転送元のパソコンで曲を削除した → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	• USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用している → USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が鳴らない	• 「操作確認音」の設定が「オフ」になっている → 「操作確認音」の設定を「オン」にしてください（☞ 85ページ）。 • 別売りのクレードルなどに接続している場合、操作確認音は鳴りません。
本体が温かくなる	• 充電中または充電直後に本体が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。
曲が切り換わるときに画面が点灯する	• 「曲切り換わり時表示」が「オン」に設定されている → 「曲切り換わり時表示」を「オフ」に設定してください（☞ 33ページ）。
日付と時刻がリセットされる	• 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合がありますが、故障ではありません。FULL が表示されるまで充電し、日付と時刻を設定し直してください（☞ 89ページ）。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示部にメッセージが出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
曲がありません。再生画面のオプションメニューから☆評価後、対応ソフト・機器に接続してください。	評価された曲が1曲も登録されていない星の数の「☆評価」を選び、再生しようとした。	本機で曲を評価し（☞40ページ）、SonicStageに接続後、再生してください。
曲がありません。対応ソフト・機器と接続し、曲を転送してください。	本機に曲が1曲もないのに、再生しようとした。	本機に曲を転送してください。
グループ数制限を超えました。	Simple Mode（☞95ページ）で本機を使用中に、リスト画面（曲一覧を除く）での合計項目数が制限数（8,192）を超えた。	制限数を超過した曲は「未分類」に分けられます。 ➔探している曲がない場合は、「未分類」のリスト内を探してください。 ➔「未分類」に曲を分けたくない場合は、不要な曲を削除し、制限数内で収めてください。
このイニシャルから始まる項目はありません。	イニシャルサーチで選んだイニシャル以下に項目がない。	△/▽/◁/▷ボタンで別のイニシャルを選んでください。
この曲は既にブックマークに登録されています。	既にブックマークリストに登録されている曲を再度登録しようとした。	1つの曲を同じブックマークリストに再登録できません。他のブックマークリストを選んでください。
再生可能な曲が含まれていません。	• 音楽のオプションメニューで「これを再生」を選んだが、再生しようとしたフォルダ以下に再生可能な曲がない。 • 選択したフォルダ以下の曲が、すべて削除予定リストに登録されている。	➔再生可能なファイル形式のデータを転送してください。 ➔削除予定リストから曲を解除してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
再生中は実行できません。再生を一時停止してからもう一度実行してください。	再生中に選べない項目を選んだ。	再生一時停止中に選んでください。
再生できません。ファイルが破損しています。対応ソフト・機器と接続し、再度転送してください。	再生しようとしたデータが壊れている。	本機にデータを転送し直してください。
再生できません。未対応形式です。	本機で再生できないデータを再生しようとした。	本機で対応していないデータは再生できません（☞ 135ページ）。
再生履歴の情報がありません。曲を再生後、対応ソフト・機器に接続してください。	本機で曲を再生後、SonicStageに接続し、再生情報を更新しないで「再生履歴」から曲を再生しようとした。	曲を15秒以上再生後、SonicStageに接続し再生情報を更新してください。
削除予定の曲は再生できません。削除予定リストから再生するか、削除予定を解除してください。	削除予定リストに登録されている曲を再生しようとした。	削除予定リストに登録されている曲は、曲一覧からは再生できません。 ➔ミュージックライブラリの「プレイリスト」から「削除予定リスト」を選び再生してください。 ➔曲を削除予定リストから解除してください（☞ 43ページ）。
削除予定リストに曲が登録されていません。	削除予定リストに1曲も登録されていないのに、削除予定リストを再生しようとした。	削除予定リストに曲が1曲も登録されていない場合、削除予定リストは再生できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
写真がありません。対応ソフト・機器と接続し、写真を転送してください。	本機に写真が1枚もないのに、写真を表示しようとした。	本機に写真を転送してください。
全てのブックマークリストに100曲登録されています。これ以上登録できません。	すべてのブックマークリストに100曲登録されているときに、まだ未登録の曲をブックマークリストに登録しようとした。	不要な曲をブックマークリストから解除してください（☞36ページ）。
データベースがありません。対応ソフト・機器と接続してください。	SonicStage、またはImage Converterに接続後、本機に曲やビデオ、写真など必要な情報がない。	本機に曲やビデオ、写真などのデータを転送してください。
データベースに異常があります。対応ソフト・機器と接続し、データを転送し直してください。	• 音楽やビデオ、写真のデータベースが壊れている。 • 内蔵フラッシュメモリーの空き容量が少ない。	→ 本機に曲やビデオ、写真のデータを転送し直してください。 → 不要なファイルを削除し、空き容量を増やしてください。 → それでも改善されない場合は、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化し（☞98ページ）、本機にデータを転送してください。
電池残量がありません。充電してください。	電池が消耗している。	充電してください（☞102ページ）
表示可能な写真が含まれていません。	選んだフォルダ内に表示可能な写真がない。	表示可能なファイル形式の写真を転送してください。
ビデオファイルがありません。対応ソフト・機器と接続し、ビデオファイルを転送してください。	本機にビデオが1つもないのに、ビデオを再生しようとした。	本機にビデオを転送してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
ファームウェアをアップデートできませんでした。	ファームウェアのアップデートに失敗した。	パソコンに表示される画面に従って、ファームウェアのアップデートをし直してください。
ブックマークに曲が登録されていません。	曲が登録されていないブックマークリストを選び、オプションメニューから「ブックマークを全解除」を行おうとした。	曲が登録されているブックマークリストを選んでから「ブックマークを全解除」を行ってください。
ブックマークに曲が登録されていません。オプションメニューから何か曲を登録してください。	曲が登録されていないブックマークリストを再生しようとした。	曲が登録されていないブックマークリストは再生できません。曲をブックマークリストに登録してください。
ホールド中です。ホールドを解除してから操作してください。	HOLDスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞ 11ページ）。
メモリーが正しく初期化されていません。各種設定からメモリー初期化を行ってください。	• 内蔵フラッシュメモリーが正しく初期化されていない。 • 内蔵フラッシュメモリーがパソコンで初期化されてれいる。	「各種設定」－「共通設定」から「メモリー初期化」を選び、内蔵フラッシュメモリーを初期化し直してください（☞ 98ページ）。
よく聞く100曲の情報がありません。曲を再生後、対応ソフト・機器に接続してください。	本機で曲を再生後、SonicStageに接続し、再生情報を更新しないで「よく聞く100曲」から曲を再生しようとした。	曲を15秒以上再生後、SonicStageに接続し再生情報を更新してください。
Simple Mode	• パソコン以外の本機に曲を転送できる機器と本機を接続し、接続を解除した。 • SonicStageのインテリジェント機能を無効にし、本機をSonicStageに接続し、接続を解除した。	エラーではありません。

次のページにつづく ⇩

表示	意味	処置
USB 接続を解除しないでください。	本機をパソコンや外部機器に接続しデータを転送している。	エラーではありません。データ転送が完了するまでUSBケーブルを外さないでください。
100 曲以上は登録できません。	ブックマークまたは削除予定リストの登録制限数を超えた。	不要な曲をブックマークリスト、または削除予定リストから解除し（☞ 36、43ページ）、制限数内で登録してください。

ソフトウェアをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」*1 をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」*2 をダブルクリックする。

3 一覧から「SonicStage X.X」または、「Image Converter X.X」を選び、「削除」*3 をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

*1 Windows 2000 Professionalでは「設定」→「コントロールパネル」
*2 Windows 2000 Professionalでは「アプリケーションの追加と削除」、Windows Vistaでは「プログラムのアンインストール」、または「プログラムと機能」
*3 Windows Vistaでは「アンインストールと変更」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

  - イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ヘッドホンを本体からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。

ご使用について

- ストラップ（別売り）をつけてご使用になる場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機の離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
  結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。

お手入れ

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。

次のページにつづく ⇩

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  – 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  – ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

次のページにつづく ⇩

サンプルデータについて*

本機は、音楽、ビデオ、フォトの試聴・体験用サンプルデータをあらかじめインストールしています。
音楽のサンプルデータを削除する場合はSonicStage上で、ビデオ、フォトのサンプルデータを削除する場合はImage ConverterまたはWindowsのエクスプローラ上で行ってください。
一度削除したサンプルデータは元に戻せません。また、新たにサンプルデータの提供はいたしませんのでご了承ください。

* お買い上げの国や地域によっては、サンプルデータはありません。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様ご相談センター」にご相談ください。（「お客様ご相談センター」の連絡先は最終ページに記載されています。）

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- DSEE Digital Sound Enhancement Engineはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Inc.の商標です。
- QuickTimeは米国Apple Inc.の登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

次のページにつづく ⇩

- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック		
コーデック	MP3	ビットレート：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*[1]：32、44.1、48 kHz
	WMA*[2]	ビットレート：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	ATRAC	ビットレート：48 ～ 352 kbps（66*[3]、105*[3]、132 kbpsはATRAC3） サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	ATRAC Advanced Lossless*[4]	ビットレート：64 ～ 352 kbps（132 kbpsはATRAC3 base layer） サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	AAC*[2]	ビットレート：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*[5] サンプリング周波数*[1]：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
曲数	最大65,535曲	

ビデオ			
ファイルフォーマット	MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット		
拡張子	.mp4、.m4v		
コーデック	映像	MPEG-4	プロファイル：Simple Profile ビットレート：最大2,500 kbps
		AVC (H.264/AVC)	プロファイル：Baseline Profile レベル：1.2、1.3 ビットレート：最大768 kbps
		フレームレート：最大30 fps 解像度：最大QVGA（320 x 240）	
	音声	AAC-LC	チャンネル数：最大2 チャンネル サンプリング周波数：24、32、44.1、48 kHz ビットレート：1チャンネルあたり最大 288 kbps
ファイルサイズ	最大2 GB		
ファイル数	最大1,000ファイル		

フォト*[6]	
ファイルフォーマット	DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠
拡張子	.jpg
コーデック	JPEG (Baseline) 画素数：最大4,000 × 4,000ピクセル（1,600万画素）
ファイル数	最大10,000ファイル

*[1] すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*[2] 著作権保護されたファイルは再生できません。
*[3] SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。
*[4] ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。
*[5] サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。
*[6] データの種類によっては再生できないものがあります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式*1およびMP3形式の曲だけを転送・録音した場合 で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

*1 ATRAC Advanced Losslessは除きます。ATRAC Advanced Losslessは楽曲により圧縮率が異なります。例えば、CD1枚（4分の曲が15曲入っていた場合）が約200 MB ～ 500 MBになります。

	NW-A805		NW-A806	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	1,300曲	約86時間40分	2,700曲	約180時間00分
64 kbps	980曲	約65時間20分	2,000曲	約133時間20分
128 kbps	495曲	約33時間00分	1,000曲	約66時間40分
256 kbps	250曲	約16時間40分	515曲	約34時間20分
320 kbps	200曲	約13時間20分	410曲	約27時間20分

	NW-A808	
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	5,500曲	約366時間40分
64 kbps	4,100曲	約273時間20分
128 kbps	2,050曲	約136時間40分
256 kbps	1,050曲	約70時間00分
320 kbps	840曲	約56時間00分

記録できるビデオファイルの最大時間の目安

本機にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW-A805	NW-A806	NW-A808
ビットレート	時間	時間	時間
384 kbps	約7時間40分	約15時間40分	約32時間40分
768 kbps	約4時間20分	約9時間20分	約19時間00分

記録できる最大写真枚数

最大 10,000枚
ファイルサイズによっては少なくなります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

容量（ユーザー使用可能領域）*[1]

NW-A805：2GB（約 1.81 GB＝1,948,622,848 バイト）
NW-A806：4GB（約 3.73 GB＝4,008,198,144 バイト）
NW-A808：8GB（約 7.56 GB＝8,127,348,736 バイト）

*[1] 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

ヘッドホン出力

- 出力
  5 mW +5 mW（16 Ω）
- 周波数特性
  20 ～ 20,000 Hz（ファイル再生時、単信号測定）

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
WM-PORT（マルチ接続端子）：22ピン
Hi-speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタからの充電の場合
約3時間（満充電）、約1.5時間（約80%まで充電）

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電池持続時間

曲切り換わり時表示（☞ 33ページ）、イコライザ（☞ 53ページ）、VPT（☞ 56ページ）、クリアステレオ（☞ 58ページ）、DSEE（☞ 60ページ）、ダイナミックノーマライザ（☞ 62ページ）を「オフ」に、画面表示時間を「常時表示」（☞ 86ページ）以外に、スクリーンセーバー（☞ 87ページ）を「なし」に設定しているときの目安です。また、ビデオは輝度設定（☞ 88ページ）を「3」に設定しているときの目安です。
周囲の温度や使用状況により、下記の持続時間は異なる場合があります。

	NW-A805/A806/A808
ミュージック	
ATRAC 132 kbps再生時	約30時間
ATRAC 128 kbps再生時	約27時間
ATRAC 48 kbps再生時	約28時間
ATRAC Advanced Lossless 64 kbps再生時	約27時間
MP3 128 kbps再生時	約33時間
WMA 128 kbps再生時	約33時間
AAC 128 kbps再生時	約32時間
ビデオ	
MPEG-4 384 kbps再生時	約8時間
MPEG-4 768 kbps再生時	約7時間
AVC 384 kbps再生時	約6.5時間
AVC 768 kbps再生時	約6.5時間

ディスプレイ

2.0型、低温ポリシリコンTFTカラー液晶、白色LEDバックライト付き、QVGA（240 × 320ドット）、ドットピッチ0.1275 mm、262,144色

本体寸法

43.8 × 88.0 × 9.1（最薄部8.3）mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

最大外形寸法

44.5 × 88.0 × 9.6 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約53 g（JEITA）*[1]

*[1] 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

動作環境（本機）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  Windows 2000 Professional（Service Pack 4以降）/ Windows XP Home Edition（Service Pack 2以降）/ Windows XP Professional（Service Pack 2以降）/ Windows XP Media Center Edition 2004（Service Pack 2以降）/ Windows XP Media Center Edition 2005（Service Pack 2以降）/ Windows Vista Home Basic / Windows Vista Home Premium / Windows Vista Business / Windows Vista Ultimate
  64ビット版のOSには対応しておりません。
  上記以外のOSでは動作保証いたしません。
- CPU
  Pentium III 733 MHz以上（Windows Vistaの場合 Pentium III 800 MHz以上）
- メモリ
  128 MB以上（Windows XPの場合256MB以上、Windows Vistaの場合 512MB以上）
- ハードディスクドライブ
  240 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽やビデオ、写真のデータを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 × 600 ピクセル以上（1024 × 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROM ドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 6.0以降、DirectX 9.0b以降がインストールされている必要があります。
- CDDBやインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合や、SonicStageでバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- Windows Media形式のビデオを変換するには、最新のWindows Media Playerがインストールされている必要があります。
- QuickTime形式やM4V形式のビデオを変換するには、最新のQuickTimeがインストールされている必要があります。

上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOS から他のOS へのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次
メニュー
索引

索引

数字・記号

あ行

か行

さ行

次のページにつづく ⇩

次のページにつづく ⇩

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）**
  デジタルメディアプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ウォークマン］－［ウォークマンAシリーズ、Eシリーズ、Sシリーズ］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：本体裏面に記載
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面に記載
      ホームメニューの（各種設定）–「共通設定」–「本体情報」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社
〒108-0075
東京都港区港南
1-7-1

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　**お客様ご相談センター**
- ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00